

(仮称)教育推進プラン・江東(第3期) 計画策定に係る
教育に関する意識調査

報告書(案)



2025年3月
江東区

目 次

第1部	調査概要	
	調査概要	----- p 2
第2部	区民向け調査結果	
	調査概要	----- p 3
	集計結果	----- p 4
第3部	小中学生向け調査結果	
	調査概要	----- p 36
	集計結果	----- p 37
第4部	保護者向け調査結果	
	調査概要	----- p 71
	集計結果	----- p 72
第5部	調査結果に基づく現状と課題	
	調査結果に基づく現状と課題	---- p 120
資料編	調査依頼状・調査票	
	江東区民(調査依頼状)-	---- p 129
	江東区民(調査票)--	---- p 130
	小中学生(調査依頼状)-	---- p 134
	小中学生(調査票)--	---- p 136
	保護者(調査依頼状)---	---- p 142
	保護者(調査票)----	---- p 144

第1部 調査概要

- 1 調査名 教育に関する意識調査
- 2 目的 「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)」の策定にあたり、計画の基礎資料とするため、「教育に関する意識調査」を実施し、調査結果の分析を行う。
- 3 調査対象者 調査対象者は以下の通り。
① 江東区民 住民基本台帳より無作為抽出によって18歳以上の江東区民を選定
② 小中学生 区立学校在校生より無作為抽出によって小学4年生～6年生、
中学1年～3年生を選定
③ ②の保護者
- 4 発送数 計8,000人
① 江東区民 2,000人
③ 小中学生 3,000人(各1,500人)
③ 保護者 3,000人
- 5 調査方法 調査対象者に郵送で調査協力をお願い状を送付する。
お願い状には回答フォームにリンクするQRコードおよび短縮URLを記載する。
本調査概要を説明する音声コードと半円切り欠き加工を施す。
お願い状は、小中学生と保護者のそれぞれの依頼状を同封し、郵送する。
小中学生および保護者は設問の概要のみ送付、区民は調査票と返信用封筒を同封した。
調査票に記載したURLまたはQRコードから、Web上の回答フォームに誘導する。
回答画面は原則として1問につき1画面で表示。
区民のみ返信用封筒を同封し、郵送での回答も可能とした。
- 6 設問数 ① 江東区民 25問
② 小中学生 34問
③ 保護者 41問
- 7 実施期間 調査発送 10月16日(水)
文面上〆切 10月31日(木)
延長後〆切 11月11日(月)
※調査依頼状に記載した回答締切は10月31日だったが、衆議院議員選挙と重なるなどで回答者への到着が遅くなったため、回収日を11月11日に延期した(SNSなどで回答依頼)。
- 8 有効回答数 計1,285人
① 江東区民 382人 回収率19.1% (うち郵送回収220人、Web回収162人)
② 小中学生 435人 回収率14.5%
③ 保護者 468人 回収率15.6%
- 9 報告書の見方 回答結果の割合(%)は、各設問の回答者数(N)に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位を四捨五入して示しています。
単独回答(ひとつだけ)の場合は合計が100%になりますが、複数回答(いくつでも)の場合は、合計が100%を超えることがあります。
小中学生は自由記述を除いて全問回答必須、保護者と区民は学校環境と自由記述を除いて全問回答必須ですが、回答がない場合は「無回答」としてカウントをしています。
各設問「その他」がある場合は、代表的な回答を記載しています。

第2部 江東区民向け調査結果

1 調査概要

(1)目的

本調査は、「教育推進プラン・江東」の次期計画策定にあたり、江東区民を対象に、江東区の教育について、教育に関するニーズや課題等を抽出し、計画の基礎資料として活用するものです。

(2)対象

18歳以上の江東区民…2,000人
(住民基本台帳より無作為抽出)

(3)実施方法

調査依頼文と回答用紙を同封し郵送。
郵送回答または本人の入力によるWEB回答のいずれかの方法で回答。

(4)実施時期

2024年10月16日～11月11日
※調査依頼状に記載した回答締切は
10月31日でしたが、衆議院議員選挙
と重なるなどで回答者への到着が遅く
なったため、回収日を11月11日に
延期しました。

(5)回収結果

江東区民(18歳以上)
配布数…2,000人
回収数…382人
回収率…19.1%

(内訳)

郵送回収数…220人
WEB回収数…162人

江東区の教育に関する意識調査へのご協力をお願い

日頃より江東区の教育行政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
さて、江東区では、子どもたちが夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となることを目指し、教育振興基本計画である「教育推進プラン・江東」を策定して様々な取組を行っております。この計画の策定にあたっては、区民の皆さまや子ども達、保護者の方にもご意見をいただきながら、時代の流れや多様化するニーズに合わせ見直すこととしております。
つきましては、この度、江東区における教育について、区民の皆様のご意見をお伺いさせていただきたく、アンケートを実施いたします。
皆様の貴重なご意見は、令和8年度からを計画期間とする「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)」の策定に活用させていただきたいと考えております。
何卒趣意をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年10月 江東区教育委員会

※本調査は江東区から株式会社ブランド総合研究所に委託し実施するものです
※本調査は無記名式で、名前や住所など個人を特定する情報は記入する箇所はありません

同時の調査票に直接記入したものを同時の返信用封筒で返送いただくか(切手不要)
QRコードから回答してください

1 回答方法 [WEB] 右のQRコードを読み取るか、以下のURLから調査画面にアクセスしてスマートフォンやパソコンなどでご回答ください
調査URL: <https://00n.in/c#soa> 調査回答ページ

[郵 送] 同時の返信用封筒により、調査委託先の「株式会社ブランド総合研究所」宛に返送ください
(返信用の切手は不要です)

2 回収締切 **令和6年10月31日(木)**
※郵送の場合はこの日までにポストに投函をお願いいたします。

【調査実施主体】 江東区教育委員会事務局 庶務課 教育政策調整係 〒135-8383 東京都江東区東橋 4-11-28 TEL: 03-3647-8542 FAX: 03-5680-6911	【調査業務委託事業者】 (株) ブランド総合研究所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-20 TEL: 03-3539-3011
---	--

右のマークは目の不自由な方
のための音声コードです

調査依頼文

2 集計結果

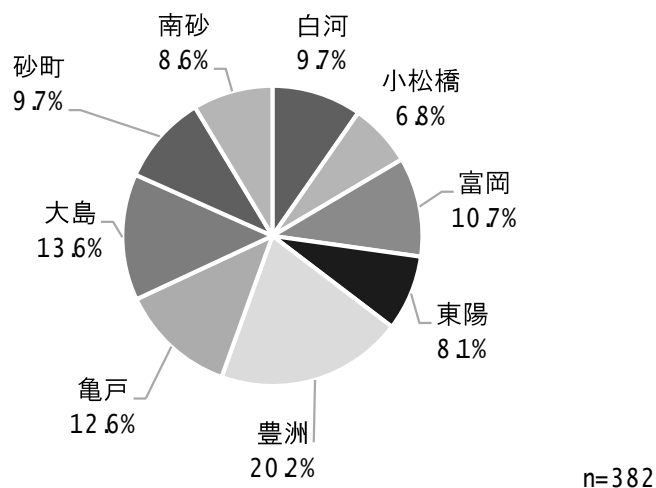
※問10、問25を除いて全問回答必須

問1 あなたがお住まいの地区をお答えください。(ひとつだけ)

「豊洲」が20.2%と最も高く、次いで「大島」が13.6%、「亀戸」が12.6%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
白河	37	9.7%
小松橋	26	6.8%
富岡	41	10.7%
東陽	31	8.1%
豊洲	77	20.2%
亀戸	48	12.6%
大島	52	13.6%
砂町	37	9.7%
南砂	33	8.6%
無回答	0	0.0%

Nは回答者数を示しています。
%は回答者数に対して、各項目の回答数の割合を、小数点第2位を四捨五入して示しています。
(以下同)

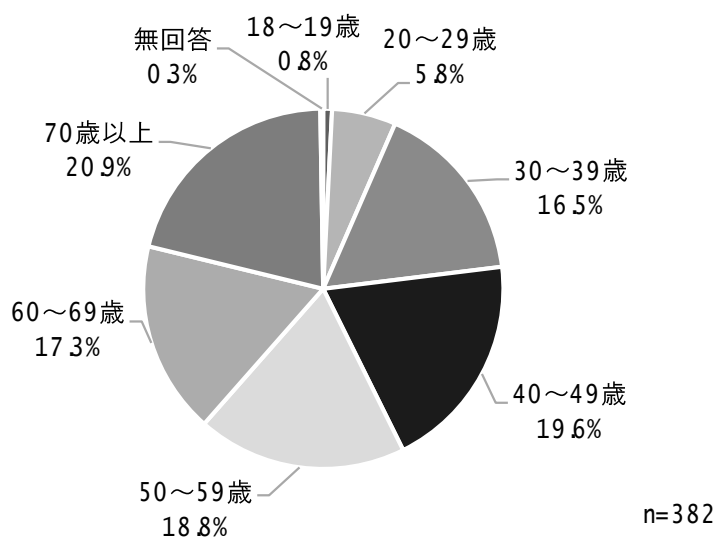


問2 あなたの年齢をお選びください。(ひとつだけ)

「70歳以上」が20.9%と最も高く、次いで「40～49歳」が19.6%、「50～59歳」が18.8%と続いています。

地区別では、白河・小松橋・亀戸は「40～49歳」が最も多く、富岡・東陽・砂町・南砂は「70歳以上」が、豊洲は「30～39歳」が、大島は「50～59歳」が最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	382	100%
18～19歳	3	0.8%
20～29歳	22	5.8%
30～39歳	63	16.5%
40～49歳	75	19.6%
50～59歳	72	18.8%
60～69歳	66	17.3%
70歳以上	80	20.9%
無回答	1	0.3%

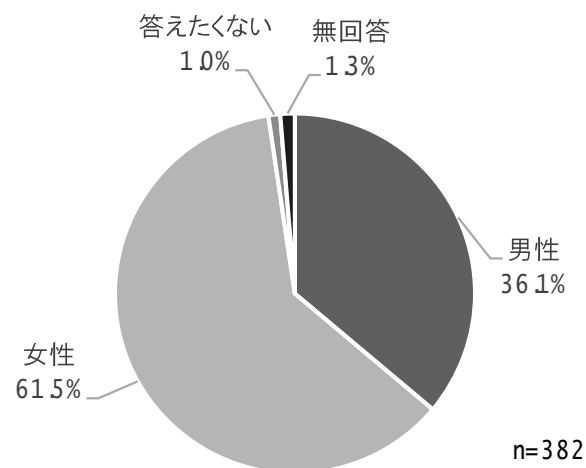


問3 あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ)

「女性」が61.5%で、「男性」が36.1%でした。

年齢別では18～19歳、20～29歳は男性の割合が高く、それ以外の年齢では女性の割合が高くなっています。
地区別では、富岡は男性の割合が高く、それ以外の地区では女性の割合が高くなっています。

	N	%
サンプル数	382	100%
男性	138	36.1%
女性	235	61.5%
答えたくない	4	1.0%
無回答	5	1.3%

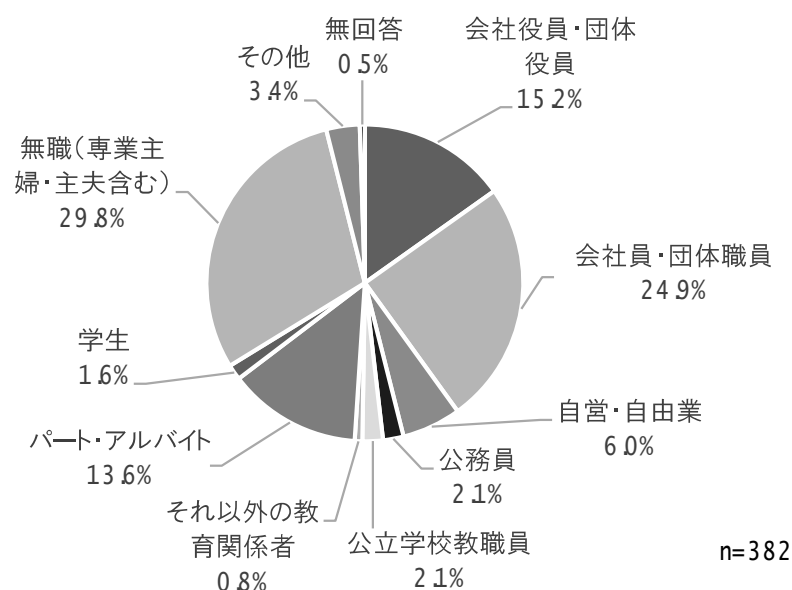


問4 あなたの職業をお選びください。（ひとつだけ）

「無職（専業主婦・主夫含む）」が29.8%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が24.9%、「会社役員・団体役員」が15.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
会社役員・団体役員	58	15.2%
会社員・団体職員	95	24.9%
自営・自由業	23	6.0%
公務員	8	2.1%
公立学校教職員	8	2.1%
それ以外の教育関係者	3	0.8%
パート・アルバイト	52	13.6%
学生	6	1.6%
無職（専業主婦・主夫含む）	114	29.8%
その他	13	3.4%
無回答	2	0.5%

その他…自営業とアルバイト



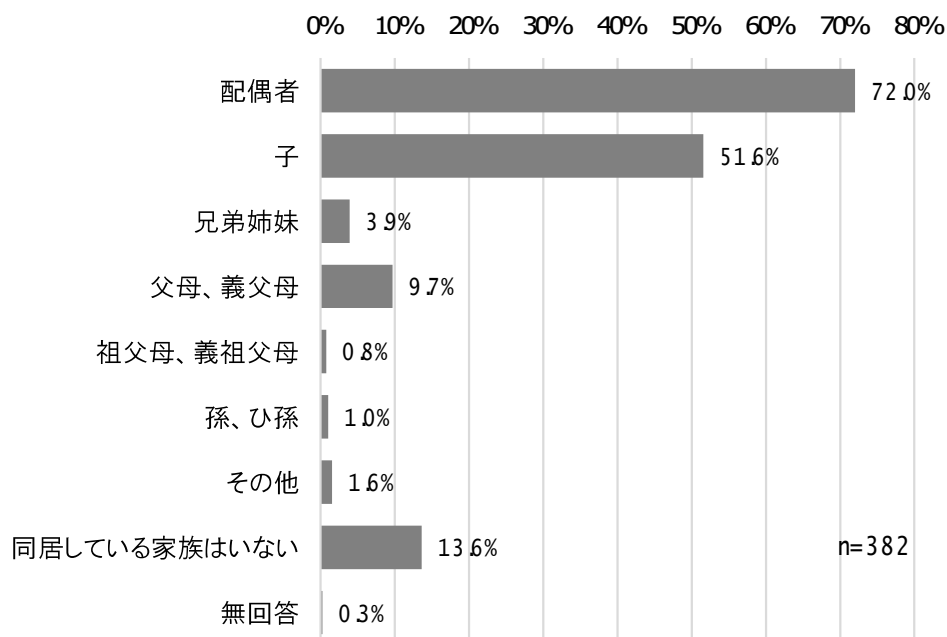
**問5 同居している家族について、あてはまるものをすべてお選びください。
(あなたにとっての続柄でお答えください) (いくつでも)**

「配偶者」が72.0%と最も高く、次いで「子」が51.6%、「同居している家族はいない(一人住まい)」が13.6%と続いています。

地区別では、「配偶者」は豊洲(80.5%)が最も高い。また、「子」は小松橋(73.1%)が、「兄弟姉妹」は南砂(15.2%)が最も高くなっています。一方、「一人住まい」は東陽(32.3%)が最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	382	100%
配偶者	275	72.0%
子	197	51.6%
兄弟姉妹	15	3.9%
父母、義父母	37	9.7%
祖父母、義祖父母	3	0.8%
孫、ひ孫	4	1.0%
その他	6	1.6%
同居している家族はいない(一人住まい)	52	13.6%
無回答	1	0.3%

その他…婚約者、パートナー、友人



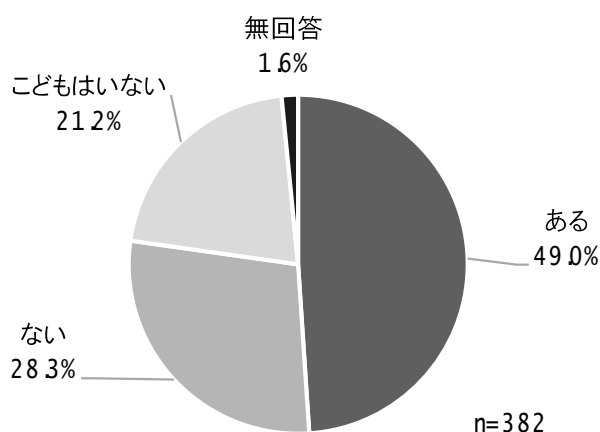
問6 あなたのお子様は江東区立の小中学校に通学したことがありますか。（ひとつだけ）

お子様が江東区立の小中学校に通学したことが「ある」と回答した方は49.0%で、通学したことは「ない」と回答した方は28.3%でした。

年齢別では、29歳以下が22.7%、30～39歳が17.5%、40～49歳は68.0%、50～59歳は52.8%、60～69歳は56.1%、70歳以上は56.3%が「ある」と回答しています。

一方、「こどもはいない」は18～19歳が66.7%、20～29歳は40.9%が、30～39歳は23.8%が40～49歳は29.2%が、50～59歳は16.7%が、60～69歳は16.7%が、70歳以上では13.8%が回答しています。

	N	%
サンプル数	382	100%
ある	187	49.0%
ない	108	28.3%
こどもはいない	81	21.2%
無回答	6	1.6%



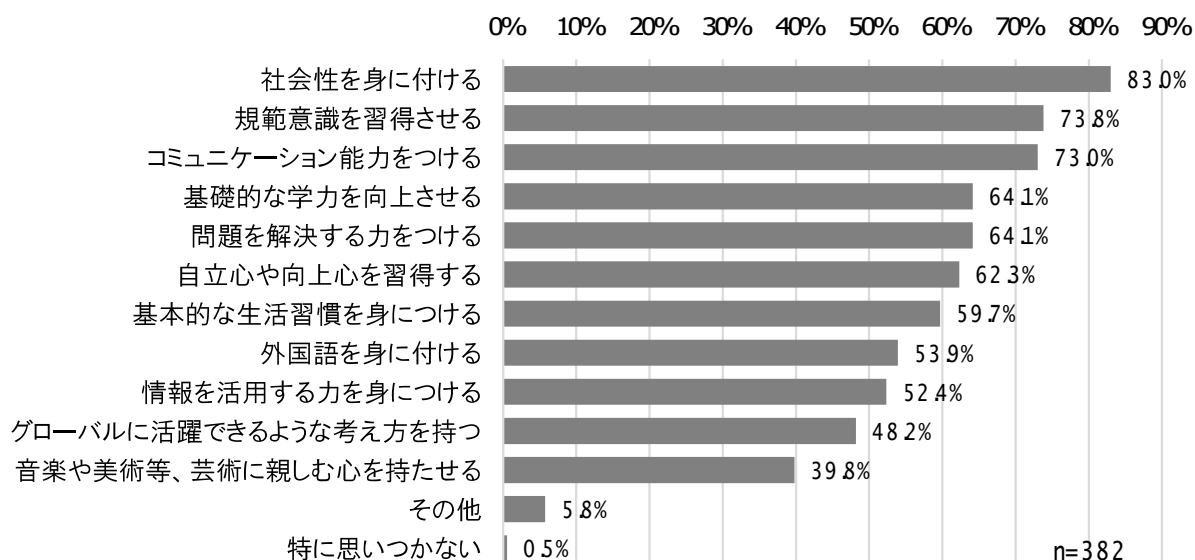
次に、こどもたちの教育についてお伺いします。
 問7 これからのこどもたちに必要だと思うことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

「社会性(協調性や思いやりの心など)を身に付ける」が83.0%と最も高く、次いで「規範意識(ルールやマナーなど)を習得させる」が73.8%と続きました。

	N	%
サンプル数	382	100%
社会性(協調性や思いやりの心など)を身に付ける	317	83.0%
基礎的な学力を向上させる	245	64.1%
規範意識(ルールやマナーなど)を習得させる	282	73.8%
基本的な生活習慣を身につける	228	59.7%
問題を解決する力をつける	245	64.1%
コミュニケーション能力をつける	279	73.0%
自立心や向上心を習得する	238	62.3%
情報を活用する力を身につける	200	52.4%
音楽や美術等、芸術に親しむ心を持たせる	152	39.8%
外国語を身に付ける	206	53.9%
グローバルに活躍できるような考え方を持つ	184	48.2%
その他	22	5.8%
特に思いつかない	2	0.5%
無回答	2	0.5%

「その他」の具体的な内容

応用力、忍耐力、文章の書き方を教える、主体性、個性、偏りのない事実を知り・考える、金融教育、ITスキル、経済学、レジリエンス、答えのない課題にチャレンジする力 など



割合の高い順に並び替えをしています。
 グラフの表記を一部省略しています。

問8 これからの学校教育で、あなたは何が重要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

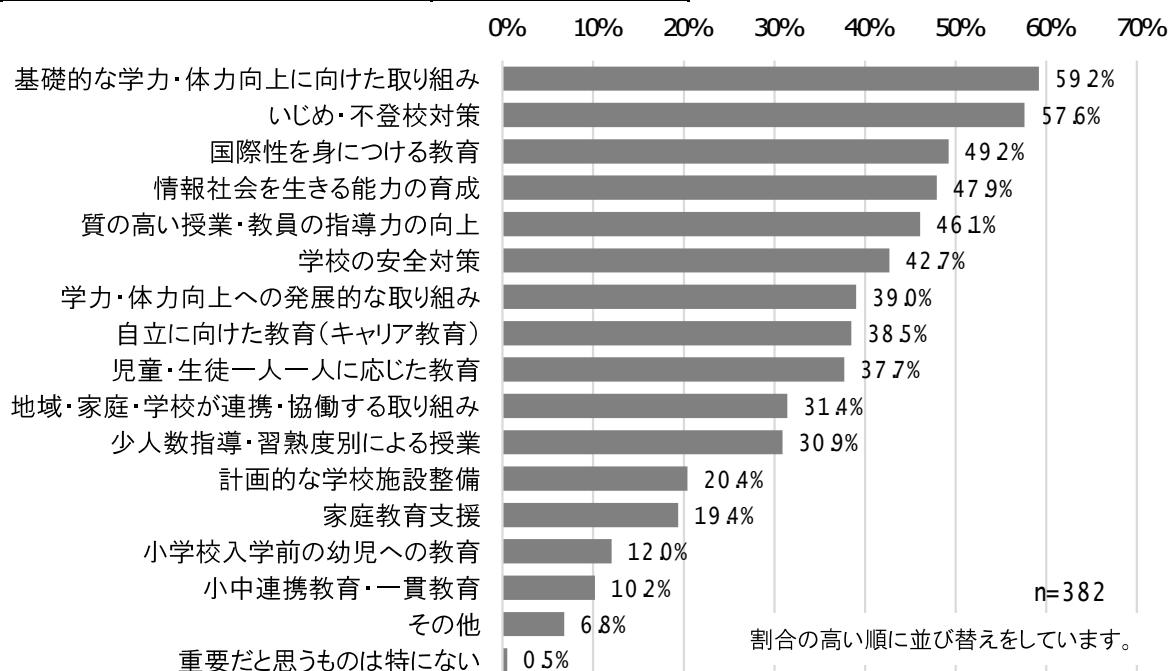
	N	%
サンプル数	382	100%
少人数指導・習熟度別による授業	118	30.9%
国際性を身につける教育	188	49.2%
いじめ・不登校対策	220	57.6%
基礎的な学力・体力向上に向けた取り組み	226	59.2%
質の高い授業・教員の指導力の向上	176	46.1%
児童・生徒一人一人に応じた教育	144	37.7%
情報社会を生きる能力の育成	183	47.9%
自立に向けた教育(キャリア教育)	147	38.5%
学力・体力向上への発展的な取り組み	149	39.0%
学校の安全対策	163	42.7%
小中連携教育・一貫教育	39	10.2%
小学校入学前の幼児への教育	46	12.0%
家庭教育支援	74	19.4%
計画的な学校施設整備	78	20.4%
地域・家庭・学校が連携・協働する取り組み	120	31.4%
その他	26	6.8%
重要だと思うものは特にな	2	0.5%
無回答	2	0.5%

「基礎的な学力・体力向上に向けた取り組み」が59.2%と最も高く、次いで「いじめ・不登校対策」が57.6%、「国際性を身につける教育」が49.2%と続きました。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」「ない」「こどもはいない」全てで「基礎的な学力・体力向上に向けた取り組み」が最も高く、「ない」では同率で「国際性を身につける教育」と「いじめ・不登校対策」が続いています。次いで「ある」と「こどもはいない」では「いじめ・不登校対策」が続いています。

「その他」の具体的な内容

タブレットで新聞を作ったり写真を貼付したりする、社会性、命の重要性、柔軟性、礼に始まり礼に終わる道の精神、地域と世界の経済・歴史・地理、正しい性教育、想像力と具現化を見出す教育、人の痛みを知る、個々人の主張を聞きそれにあった対応をする、解決や吸収するプロセスを一緒に考える など



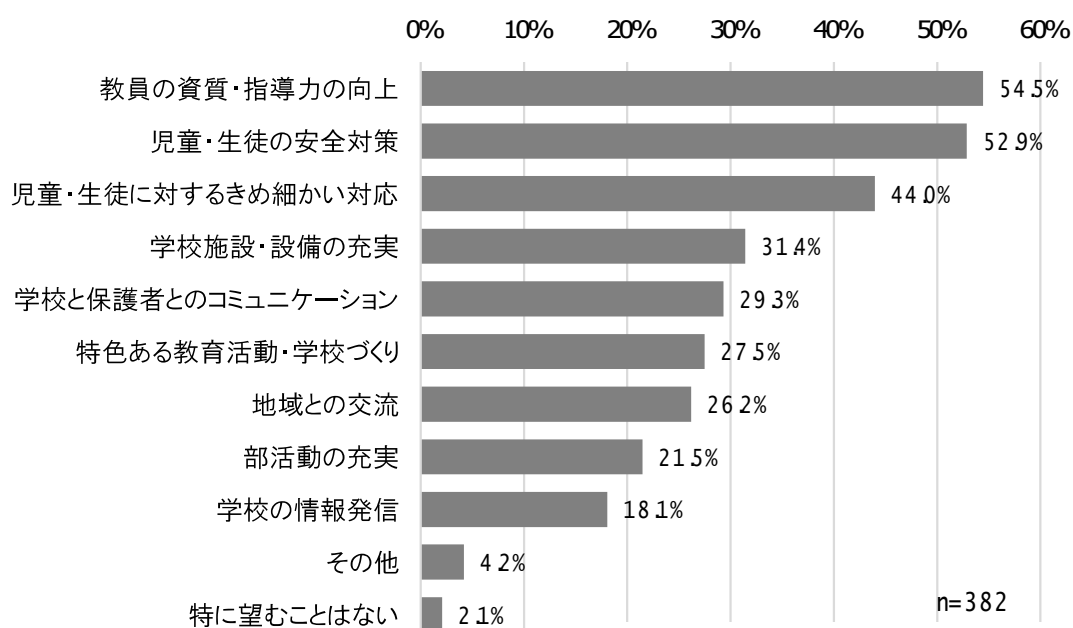
問9 あなたは、勉強以外に学校に期待することはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

「教員の資質・指導力の向上」が54.5%と最も高く、次いで「児童・生徒の安全対策」が52.9%、「児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい対応」が44.0%と続きました。

	N	%
サンプル数	382	100%
児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい対応	168	44.0%
特色ある教育活動・学校づくり	105	27.5%
教員の資質・指導力の向上	208	54.5%
児童・生徒の安全対策	202	52.9%
部活動の充実	82	21.5%
学校の情報発信	69	18.1%
学校施設・設備の充実	120	31.4%
学校と保護者とのコミュニケーション	112	29.3%
地域との交流	100	26.2%
その他	16	4.2%
特に望むことはない	8	2.1%
無回答	6	1.6%

「その他」の具体的な内容

学校の透明性、保護者の協力・参画、宿題や塾を必要としない効率の良い教育、社会人の基礎教育、一人ひとりに対するきめ細かい対応、教職員の確保・負担軽減、家庭や塾では実行しにくい学習や経験への注力 など



割合の高い順に並び替えをしています。

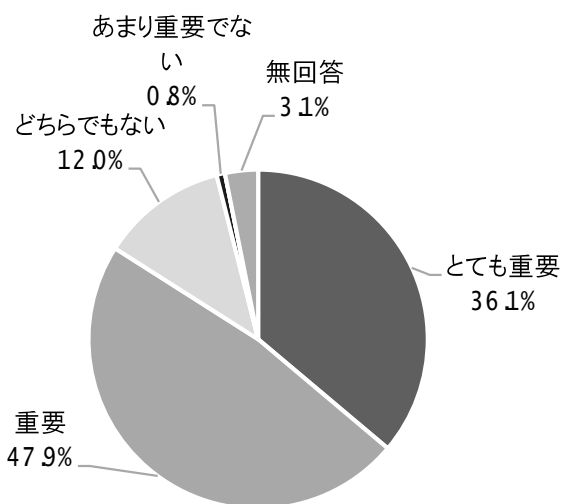
問10 小学校、中学校の環境で重要だと思う事は何ですか。(それぞれひとつずつ) (5段階評価)

m11 快適な教室空間

「重要」が47.9%と最も高く、「とても重要」は36.1%でした。快適な教室空間について、84.0%が重要だと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「重要」が最も高く、「ある」では44.9%、「ない」は48.1%、「こどもはいない」は53.1%が回答しています。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	138	36.1%
重要	183	47.9%
どちらでもない	46	12.0%
あまり重要でない	3	0.8%
まったく重要でない	0	0.0%
無回答	12	3.1%



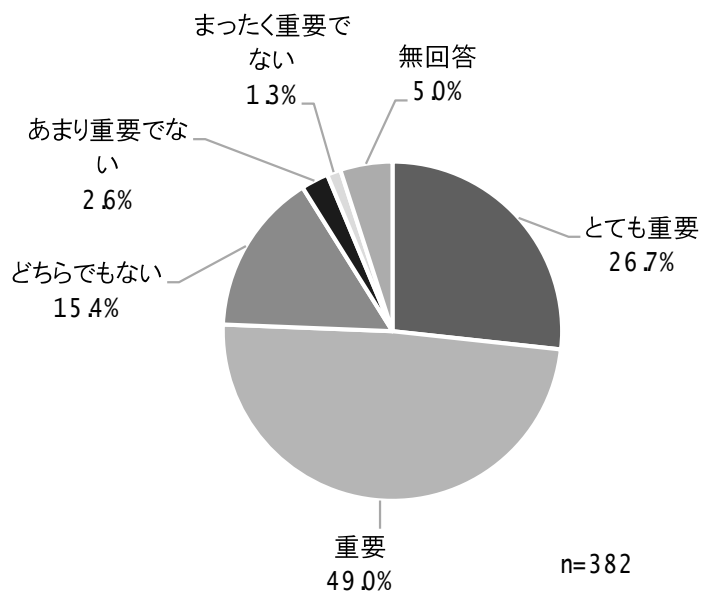
n=382

m2 ICT環境の充実

「重要」が49.0%と最も高く、「とても重要」が26.7%でした。ICT環境の充実について、75.7%が重要だと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「重要」が最も高く、「ある」は44.9%、「ない」は50.9%、「こどもはいない」では53.1%でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	102	26.7%
重要	187	49.0%
どちらでもない	59	15.4%
あまり重要でない	10	2.6%
まったく重要でない	5	1.3%
無回答	19	5.0%



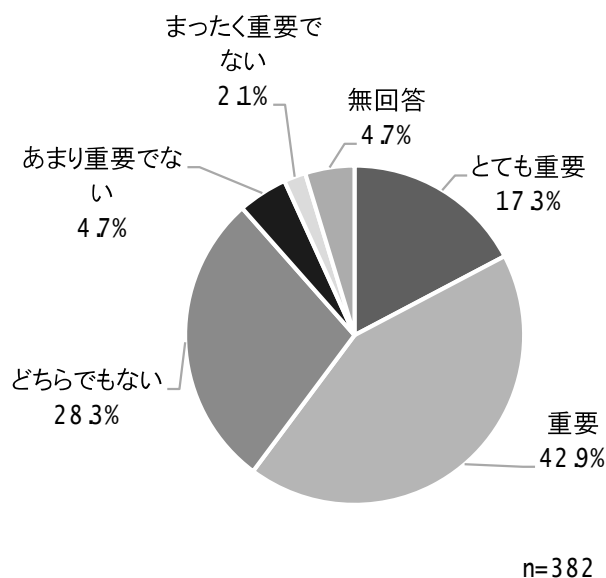
m3 バリアフリー・ジェンダーフリーの設備

「重要」が42.9%と最も高く、「どちらでもない」が28.3%でした。バリアフリー・ジェンダーフリーの設備について、60.2%が重要だと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「重要」が最も高く、「ある」は41.7%、「ない」は43.5%、「こどもはいない」では43.2%でした。

一方、年齢別では各年代「重要」が最も高い中、50～59歳は54.2%と半数以上でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	66	17.3%
重要	164	42.9%
どちらでもない	108	28.3%
あまり重要でない	18	4.7%
まったく重要でない	8	2.1%
無回答	18	4.7%

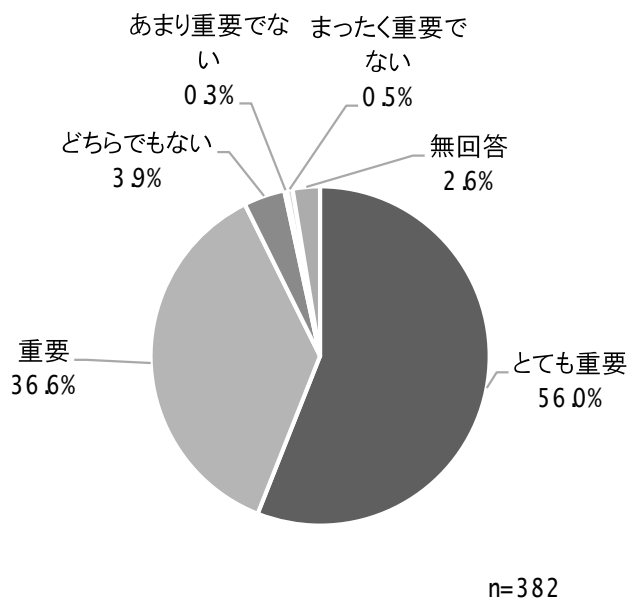


m4 防災性に優れた校舎

「とても重要」が56.0%と最も高く、「重要」は36.6%でした。防災性に優れた校舎について、92.6%が重要だと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「とても重要」が最も高く、「ある」では53.5%、「ない」は61.6%、「こどもはいない」では55.6%でした。また、年代別では18歳～69歳まで「とても重要」が最も高く、18～59歳までは「全く重要ではない」・「あまり重要ではない」が0.0%でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	214	56.0%
重要	140	36.6%
どちらでもない	15	3.9%
あまり重要でない	1	0.3%
まったく重要でない	2	0.5%
無回答	10	2.6%

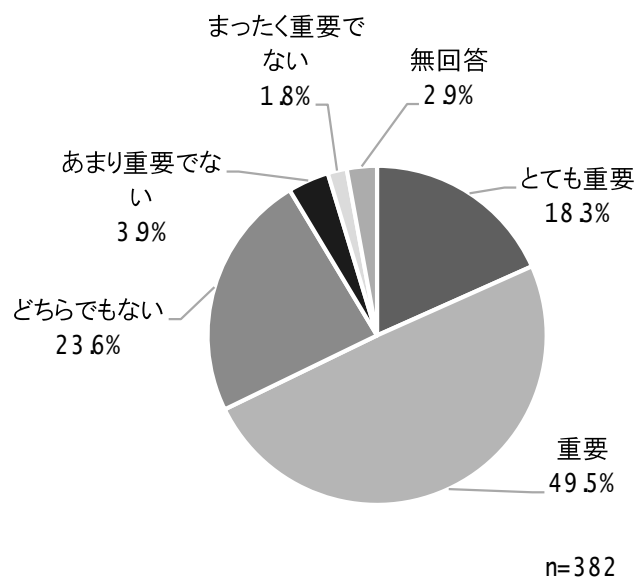


m5 環境への配慮（緑化、木質化、太陽光・雨水利用など）

「重要」が49.5%と最も高く、「どちらでもない」が23.6%でした。緑化や太陽光の利用など、環境への配慮について、67.8%が重要だと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「重要」が最も高く、「ある」は55.1%、「ない」は40.7%、「こどもはいない」では46.9%でした。また、「あまり重要でない」・「全く重要でない」の合計は、「ある」では2.2%、「ない」では5.6%、「こどもはいない」では14.8%でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	70	18.3%
重要	189	49.5%
どちらでもない	90	23.6%
あまり重要でない	15	3.9%
まったく重要でない	7	1.8%
無回答	11	2.9%

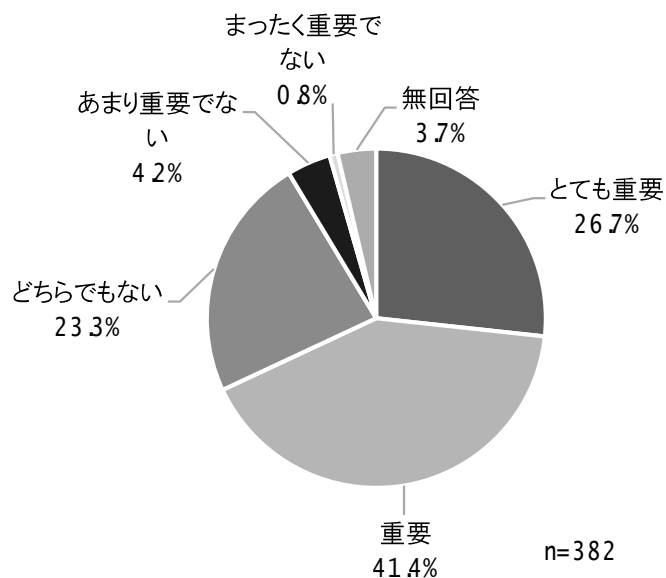


m6 プライバシーの配慮

「重要」が41.4%と最も高く、「とても重要」が26.7%でした。プライバシーの配慮について、68.1%が重要だと思っています。

「とても重要」・「重要」の合計について、こどもの区立小中学校通学経験について「ある」は68.4%、「ない」は70.4%、「こどもはいない」では63.0%でした。「あまり重要でない」「全く重要でない」の合計については、「ある」は4.3%、「ない」は4.6%、「こどもはいない」は7.4%でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	102	26.7%
重要	158	41.4%
どちらでもない	89	23.3%
あまり重要でない	16	4.2%
まったく重要でない	3	0.8%
無回答	14	3.7%

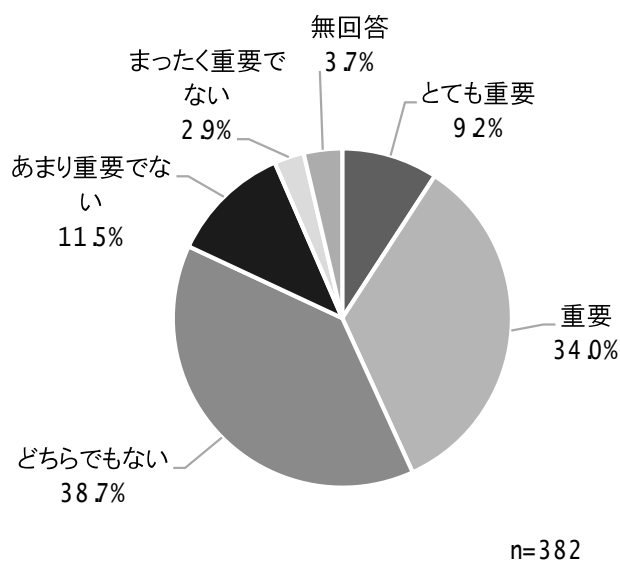


m7 地域と交流できるようなスペースの設置

「どちらでもない」が38.7%と最も高く、「重要」は34.0%でした。地域と交流できるようなスペースの設置について、43.2%が重要だと思っている一方、14.4%は重要ではないと思っています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「どちらでもない」が最も高く、次いで「重要」が続いています。一方、年齢別では18～19歳は「とても重要」「あまり重要でない」が同率で最も高く、20～29歳では「とても重要」「どちらでもない」が同率で、30～39歳では「重要」「どちらでもない」が同率、40～49歳・50～59歳は「どちらでもない」、60～69歳は「重要」「どちらでもない」が同率、70歳以上では「重要」が最も高い結果でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても重要	35	9.2%
重要	130	34.0%
どちらでもない	148	38.7%
あまり重要でない	44	11.5%
まったく重要でない	11	2.9%
無回答	14	3.7%



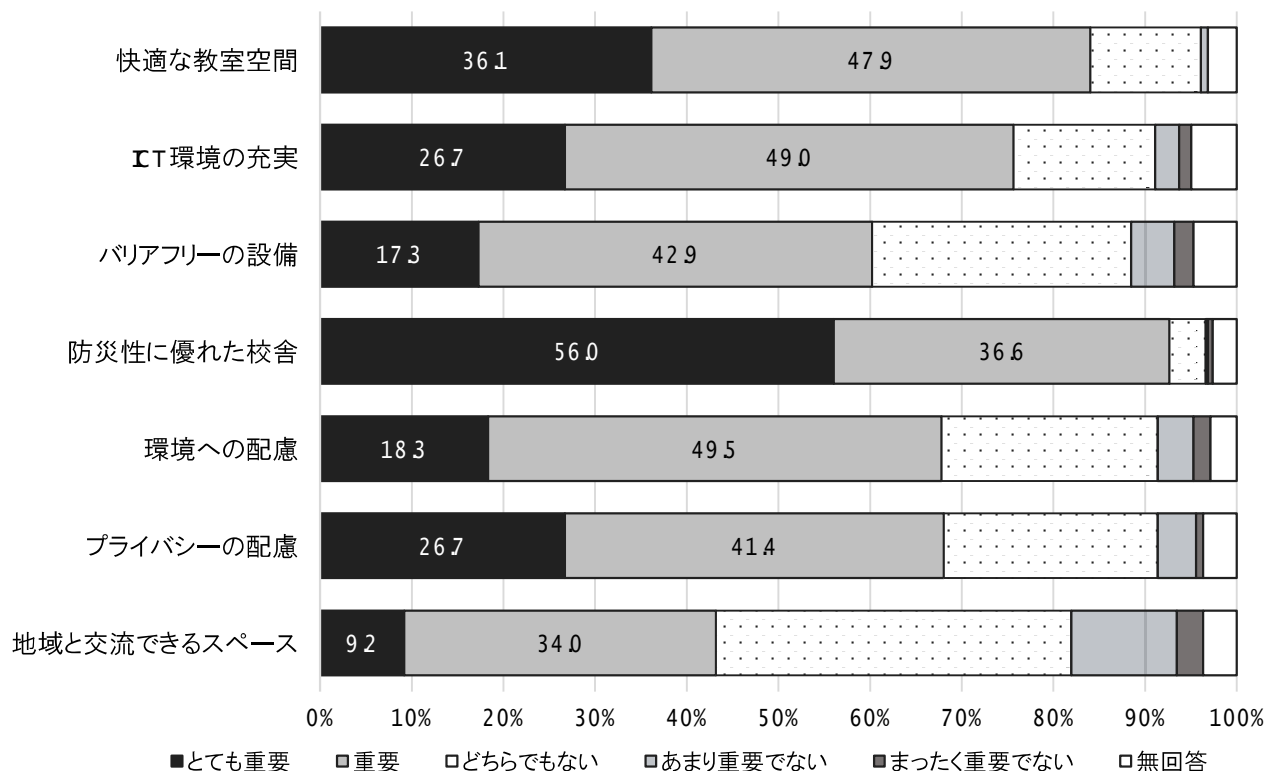
問10 各項目結果比較

小学校・中学校の環境で重要だと思うこと7項目の結果を示しています。

「防災性に優れた校舎」は他の項目に比べて、重要という回答が多い結果でした。

一方、「地域と交流できるようなスペースの設置」は最も低い結果でした。

	とても重要	重要	どちらでも ない	あまり 重要 でない	全く 重要 でない	無回 答
快適な教室空間	36.1	47.9	12.0	0.8	0.0	3.1
ICT環境の充実	26.7	49.0	15.4	2.6	1.3	5.0
バリアフリー・ジェンダーフリーの設備	17.3	42.9	28.3	4.7	2.1	4.7
防災性に優れた校舎	56.0	36.6	3.9	0.3	0.5	2.6
環境に配慮されたつくり	18.3	49.5	23.6	3.9	1.8	2.9
プライバシーの配慮	26.7	41.4	23.3	4.2	0.8	3.7
地域との交流スペース	9.2	34.0	38.7	11.5	2.9	3.7



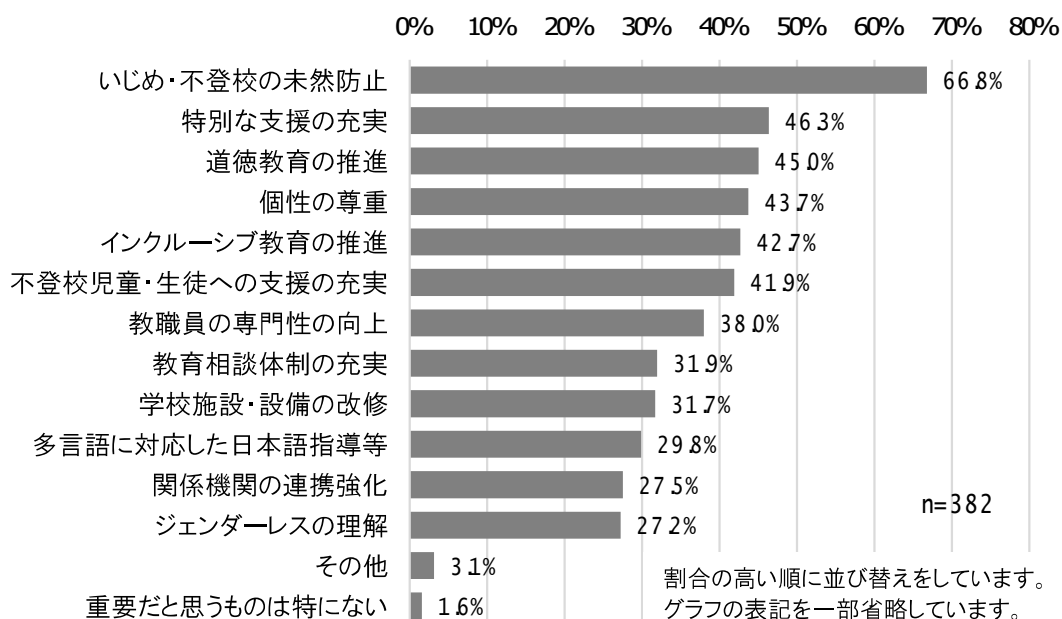
問11 近年、教育現場においてもニーズが多様化しています。それに対応するために、あなたは何が重要だと思いますか。（いくつでも）

「いじめ・不登校の未然防止」が66.8%と最も高く、次いで「特別な支援を必要とするこどもへの個に応じた支援の充実」が46.3%、「道徳教育の推進」が45.0%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
特別な支援を必要とするこどもへの個に応じた支援の充実	177	46.3%
インクルーシブ（多様なこどもたちが同じ場所で学びあう）教育の推進	163	42.7%
いじめ・不登校の未然防止	255	66.8%
不登校児童・生徒への支援の充実	160	41.9%
外国籍のこどもなど、多言語に対応した日本語指導等の支援の充実	114	29.8%
学校施設・設備の改修	121	31.7%
教育相談体制の充実	122	31.9%
道徳教育の推進	172	45.0%
ジェンダーレスの理解	104	27.2%
個性の尊重	167	43.7%
教職員の専門性の向上	145	38.0%
関係機関の連携強化	105	27.5%
その他	12	3.1%
重要だと思うものは特にない	6	1.6%
無回答	10	2.6%

「その他」の具体的な内容

特別支援学級には専門の教育を配置、発達障害のきめ細かい支援と配慮、家庭での躰をアナウンス、雑務の外注・省力化（2）、教員数の向上、外部人材の柔軟な活用、文化芸術を通じたコミュニケーション



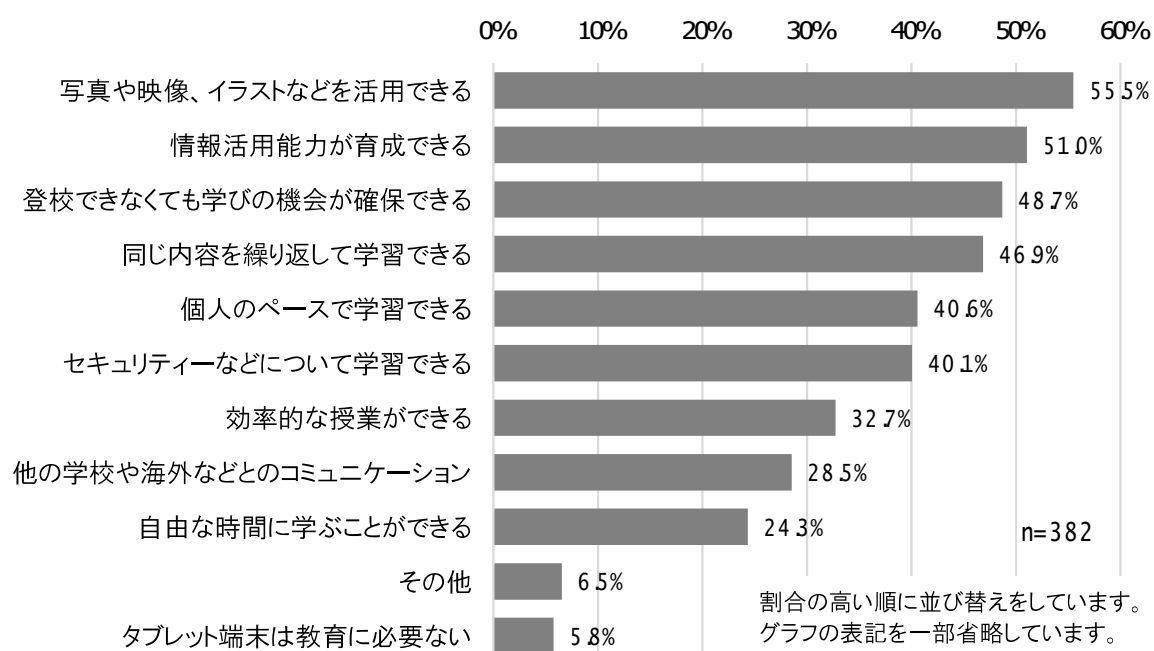
問12 現在、江東区の小中学生で配布し、事業などで活用しているタブレット端末についてお伺いします。タブレット端末を活用した教育で重要と思うことは何ですか。(いくつでも)

「写真や映像、イラストなどのデジタル教材を活用できる」が55.5%と最も高く、次いで「情報活用能力が育成できる」が51.0%、「登校できなくても学びの機会が確保できる」が48.7%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
個人のペースで学習できる	155	40.6%
同じ内容を繰り返して学習できる	179	46.9%
登校できなくても学びの機会が確保できる	186	48.7%
他の学校や海外などの児童生徒とのコミュニケーションがとれる	109	28.5%
教師の説明時間の短縮等により、効率的な授業ができる	125	32.7%
写真や映像、イラストなどのデジタル教材を活用できる	212	55.5%
情報活用能力が育成できる	195	51.0%
自由な時間に学ぶことができる	93	24.3%
情報セキュリティや情報モラルマナーについて学習できる	153	40.1%
その他	25	6.5%
タブレット端末は教育に必要ない	22	5.8%
無回答	12	3.1%

「その他」の具体的な内容

タブレットの反応が悪い、プログラミング教育、リスニング、家庭での時間管理が必要、社会とつながりながら学習できる、時間制限が必要、現物を見る機会を用意 など

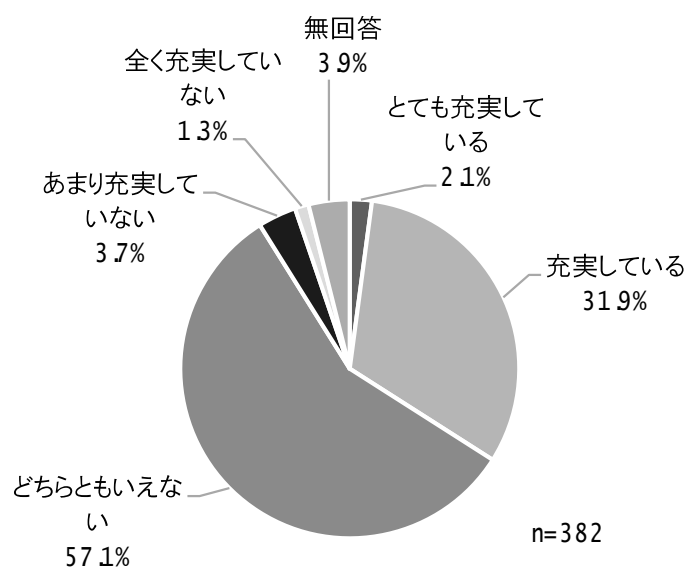


問13 続いて、江東区の教育についてお伺いします。江東区の教育環境は充実していると思いますか。（ひとつだけ）

江東区の教育環境について、「とても充実している」・「充実している」と回答したのは合わせて34.0%でした。一方で、「あまり充実していない」・「全く充実していない」は5.0%でした。「どちらとも言えない」が57.1%と、最も高い結果でした。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「どちらとも言えない」が最も高く、「ある」では48.1%、「ない」では60.2%、「こどもはいない」では75.3%でした。次いで「充実している」が高く、「ある」では39.6%、「ない」は27.8%、「こどもはいない」は18.5%でした。

	N	%
サンプル数	382	100%
とても充実している	8	2.1%
充実している	122	31.9%
どちらとも言えない	218	57.1%
あまり充実していない	14	3.7%
全く充実していない	5	1.3%
無回答	15	3.9%



問14 江東区の掲げる以下の理念の中で、あなたがふさわしいと思うものをお選びください。(いくつでも)

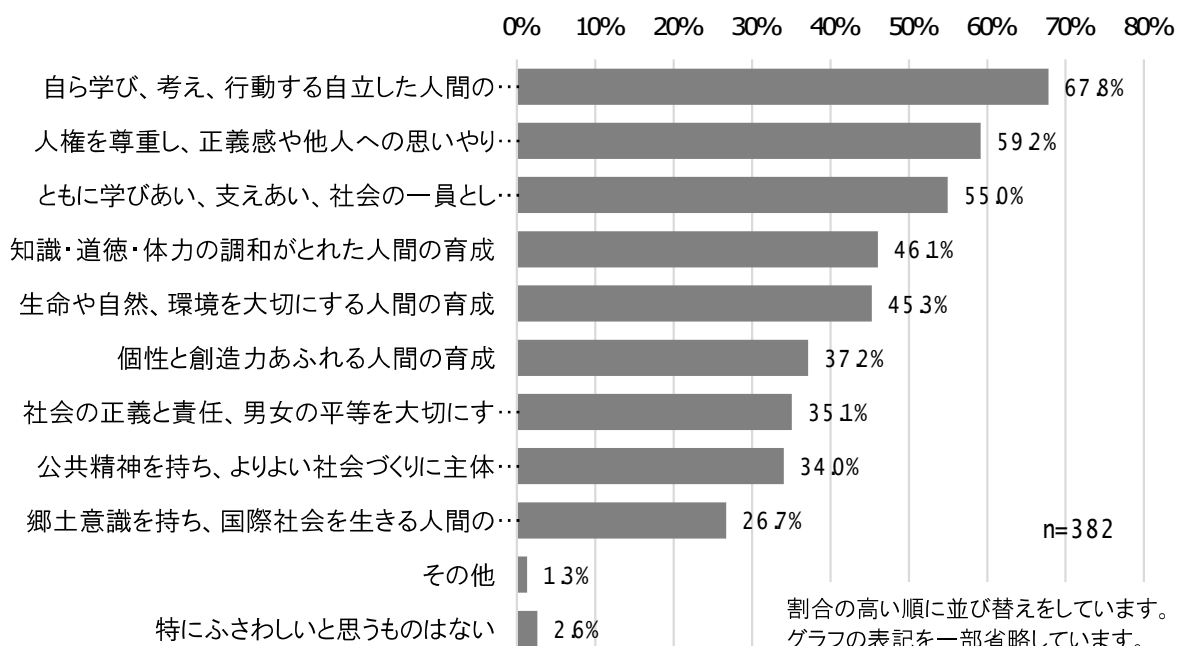
「自ら学び、考え、行動する自立した人間の育成」が67.8%と最も高く、次いで「人権を尊重し、正義感や他人への思いやりにあふれる人間の育成」が59.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
自ら学び、考え、行動する自立した人間の育成	259	67.8%
人権を尊重し、正義感や他人への思いやりにあふれる人間の育成	226	59.2%
知識・道徳・体力の調和がとれた人間の育成	176	46.1%
ともに学びあい、支えあい、社会の一員として役割を果たす人間の育成	210	55.0%
生命や自然、環境を大切にする人間の育成	173	45.3%
個性と創造力あふれる人間の育成	142	37.2%
公共精神を持ち、よりよい社会づくりに主体的に取り組む人間の育成	130	34.0%
社会の正義と責任、男女の平等を大切にする人間の育成	134	35.1%
郷土意識を持ち、国際社会を生きる人間の育成	102	26.7%
その他	5	1.3%
特にふさわしいと思うものはない	10	2.6%
無回答	10	2.6%

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」いずれも「自ら学び、考え、行動する自立した人間の育成」が最も高く、次いで「ある」では「共に学び合い、支え合い、社会の一員として役割を果たす人間の育成」が続いており、「ない」・「こどもはいない」では「人権を尊重し、正義感や他人への思いやりにあふれる人間の育成」が続いています。

「その他」の具体的な内容

図書館に学習資料が少ない、子無し家庭に情報が来ないので理念に共感できない、自治体レベルで理念を持つ必要性が分からない など



問15 教育委員会の取組について、あなたは何で情報を得ますか。(いくつでも)

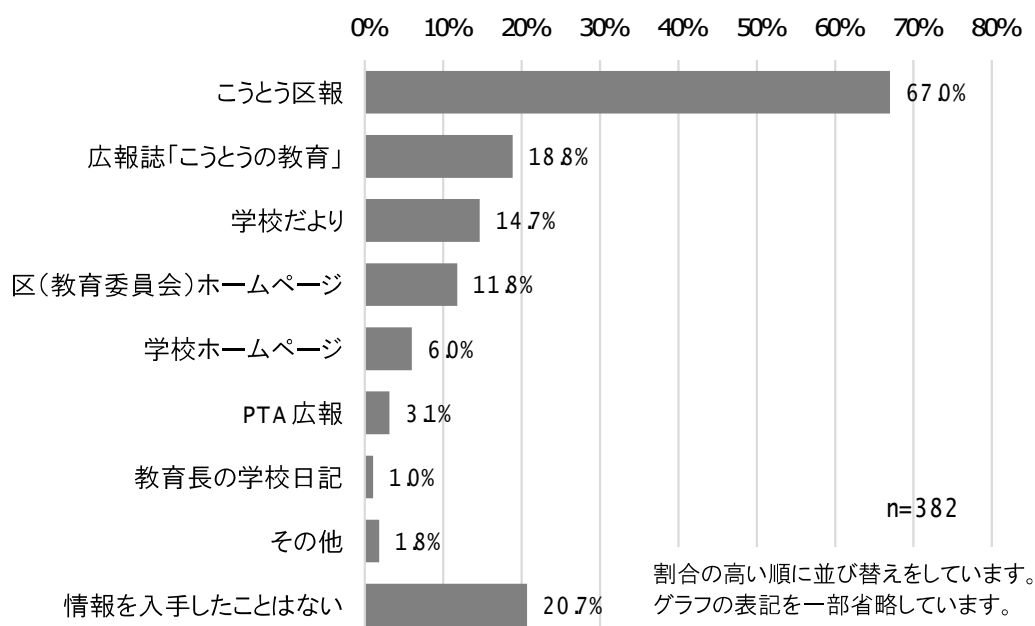
「こうとう区報」が67.0%と最も高く、次いで「広報誌「こうとうの教育」」が18.8%、「学校だより」が14.7%、「区(教育委員会)ホームページ」が11.8%と続いています。

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」・「ない」・「こどもはいない」全てで「こうとう区報」が最も高く、次いで「ある」では「学校だより」が、「ない」では「広報誌「こうとうの教育」」が、「こどもはいない」では、「情報を入手したことはない」が続いています。

「情報を入手したことはない」は、「ある」が15.0%、「ない」は15.7%の一方、「こどもはいない」では40.7%と高くなっています。

	N	%
サンプル数	382	100%
区(教育委員会)ホームページ	45	11.8%
こうとう区報	256	67.0%
広報誌「こうとうの教育」	72	18.8%
学校だより	56	14.7%
学校ホームページ	23	6.0%
「学校、今日行く!」～教育長の学校日記～	4	1.0%
PTA広報	12	3.1%
その他	7	1.8%
情報を入手したことはない	79	20.7%
無回答	9	2.4%

「その他」の具体的な内容
すぐーる、区のLINE



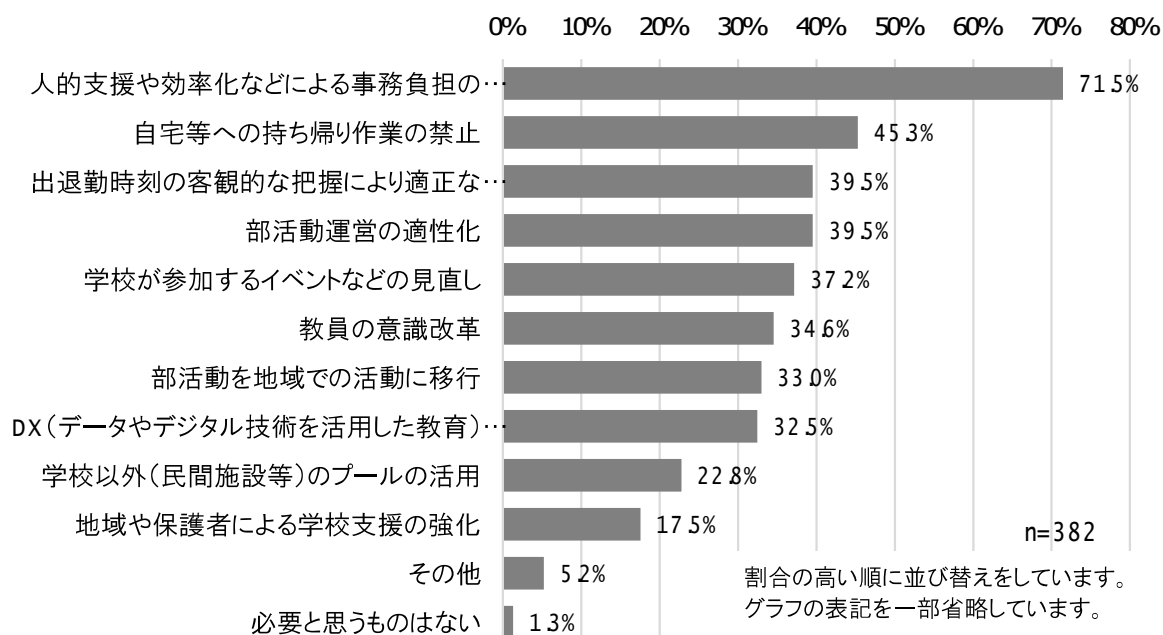
問16 次に教員についてお伺いします。江東区では、学校教育の維持向上のため、教員の長時間勤務の是正に向けた「学校における働き方改革」を進めています。教員の働き方改革に関する取組について必要と思うものをお選びください。（いくつでも）

「人的支援や効率化などによる事務負担の軽減」が71.5%と最も高く、次いで「自宅等への持ち帰り作業の禁止」が45.3%、「出退勤時刻の客観的な把握により適正な時間管理の実施」が39.5%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
人的支援や効率化などによる事務負担の軽減	273	71.5%
出退勤時刻の客観的な把握により適正な時間管理の実施	151	39.5%
自宅等への持ち帰り作業の禁止	173	45.3%
学校が参加するイベントなどの見直し	142	37.2%
教員の意識改革	132	34.6%
部活動運営の適性化	151	39.5%
部活動を地域での活動に移行	126	33.0%
地域や保護者による学校支援の強化	67	17.5%
DX（データやデジタル技術を活用した教育）の推進	124	32.5%
学校以外（民間施設等）のプールの活用	87	22.8%
その他	20	5.2%
必要と思うものはない	5	1.3%
無回答	11	2.9%

「その他」の具体的な内容

働かせ方の意識改革、業務削減・棚卸し、処遇改善(2)、外注する(2)、メンタルケア、研修を増やす、複数校で業務をまとめる、PTA見直し、担当学年を固定化し行事の負担を減らす など



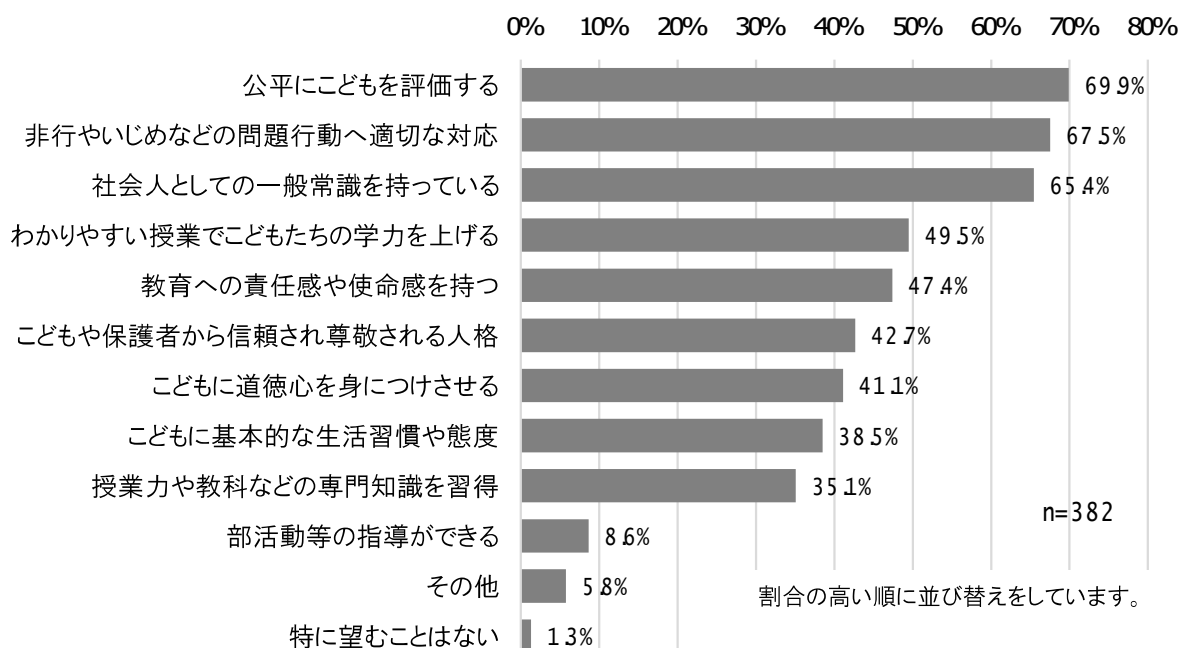
問17 あなたが教職員に求めることは何ですか。（いくつでも）

「公平に子どもを評価する」が69.9%と最も高く、次いで「非行やいじめなどの問題行動へ適切な対応をする」が67.5%、「社会人としての一般常識を持っている」が65.4%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
公平に子どもを評価する	267	69.9%
非行やいじめなどの問題行動へ適切な対応をする	258	67.5%
社会人としての一般常識を持っている	250	65.4%
わかりやすい授業で子どもたちの学力を上げる	189	49.5%
子どもや保護者から信頼され尊敬される人格を持っている	163	42.7%
子どもに基本的な生活習慣や態度を身につけさせる	147	38.5%
子どもに道徳心を身につけさせる	157	41.1%
教育への責任感や使命感を持つ	181	47.4%
授業力や教科などの専門知識を習得している	134	35.1%
部活動等の指導ができる	33	8.6%
その他	22	5.8%
特に望むことはない	5	1.3%
無回答	10	2.6%

「その他」の具体的な内容

個を大切にする、教育に対する知識と熱量、様々な経験、教養を身につける、コミュニケーションを増やす、親に対するアドバイス、多様性を認める、情報公開、補助員を増やす、子どもと同じ目線で接するなど



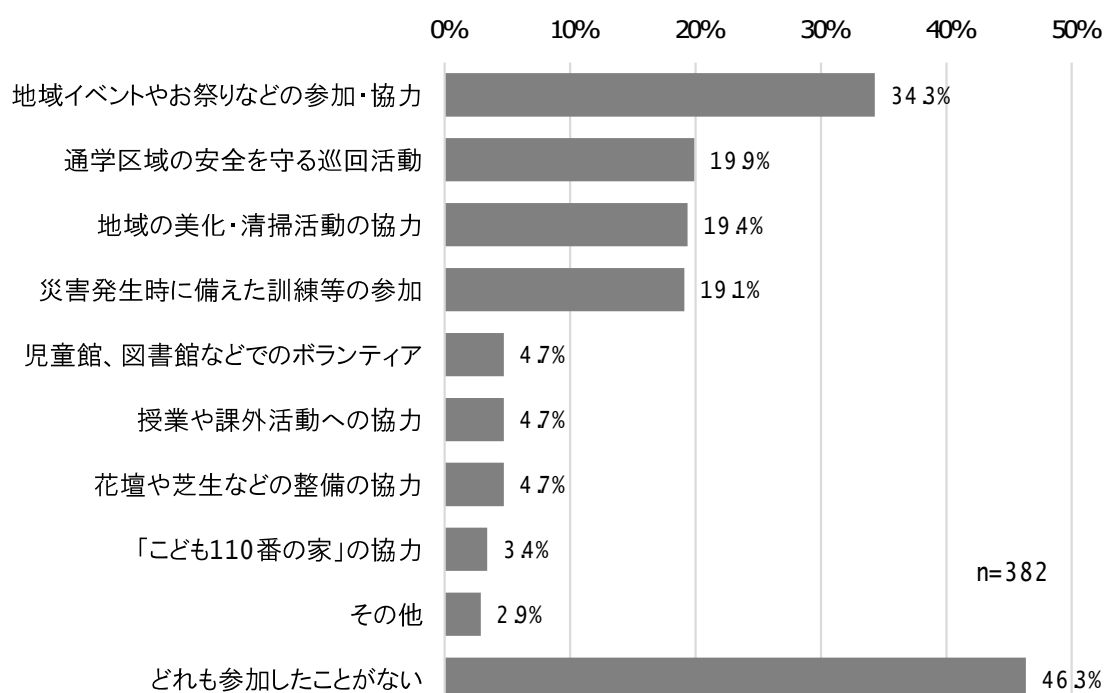
問18 地域と学校の関わりについてお伺いします。あなたは地域で行っている次のような活動に参加したことはありますか。参加したことがあるものをお選びください。（いくつでも）

「地域イベントやお祭りなどの参加・協力」が34.3%と最も高く、次いで「こどもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力」が19.9%、「地域の美化・清掃活動の協力」が19.4%と続きました。

	N	%
サンプル数	382	100%
こどもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力	76	19.9%
「こども110番の家」の協力	13	3.4%
児童館、図書館などでのボランティア	18	4.7%
特技や能力を活かした、授業や課外活動への協力	18	4.7%
地域の美化・清掃活動の協力	74	19.4%
花壇や芝生などの整備の協力	18	4.7%
地域イベントやお祭りなどの参加・協力	131	34.3%
災害発生時に備えた訓練等の参加	73	19.1%
その他	11	2.9%
どれも参加したことがない	177	46.3%
無回答	10	2.6%

「その他」の具体的な内容

自然環境ボランティア、体育館を利用した稽古、地域施設のボランティア、これから地域貢献をしたい など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問19 地域と学校の連携について、あなたはどのように思いますか。(いくつでも)

「こどもの成長のためにも地域と学校の連携を進めていくべきだ」が33.0%と最も高く、次いで「地域と学校の連携のイメージがわからない」が30.9%と続いています。

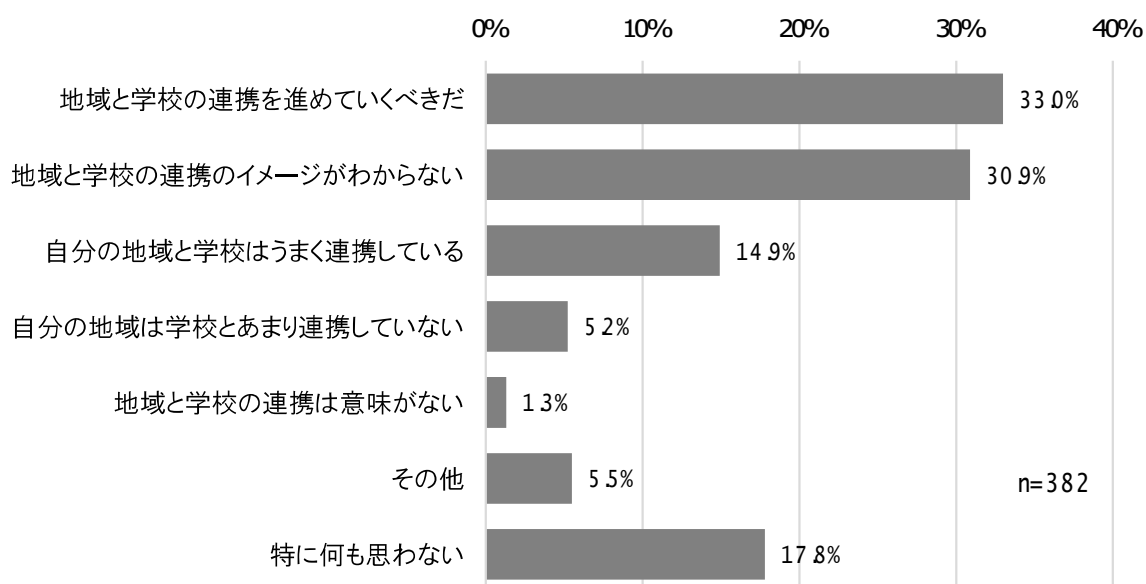
こどもの区立小中学校通学経験について「ある」では「こどもの成長のためにも地域と学校の連携を進めていくべきだ」が33.7%と最も高く、次いで「地域と学校の連携のイメージがわからない」が29.4%で続いています。

「ない」では「地域と学校の連携のイメージがわからない」が38.0%と最も高く、「こどもはいない」では、「特に何も思わない」が37.0%で最も高くなっています。

	N	%
サンプル数	382	100%
自分の地域と学校はうまく連携している	57	14.9%
地域と学校の連携のイメージがわからない	118	30.9%
こどもの成長のためにも地域と学校の連携を進めていくべきだ	126	33.0%
自分の地域は学校とあまり連携していない	20	5.2%
地域と学校の連携は意味がない	5	1.3%
その他	21	5.5%
特に何も思わない	68	17.8%
無回答	20	5.2%

「その他」の具体的な内容

地域がPTAに要求しすぎている、実態を知りたい、学校は地域に向けてオープン・柔軟になるべきだ、連携は面倒くさいと思うなど



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問20 地域の中の学校として、地域が学校に協力できることは何だと考えますか。 (いくつでも)

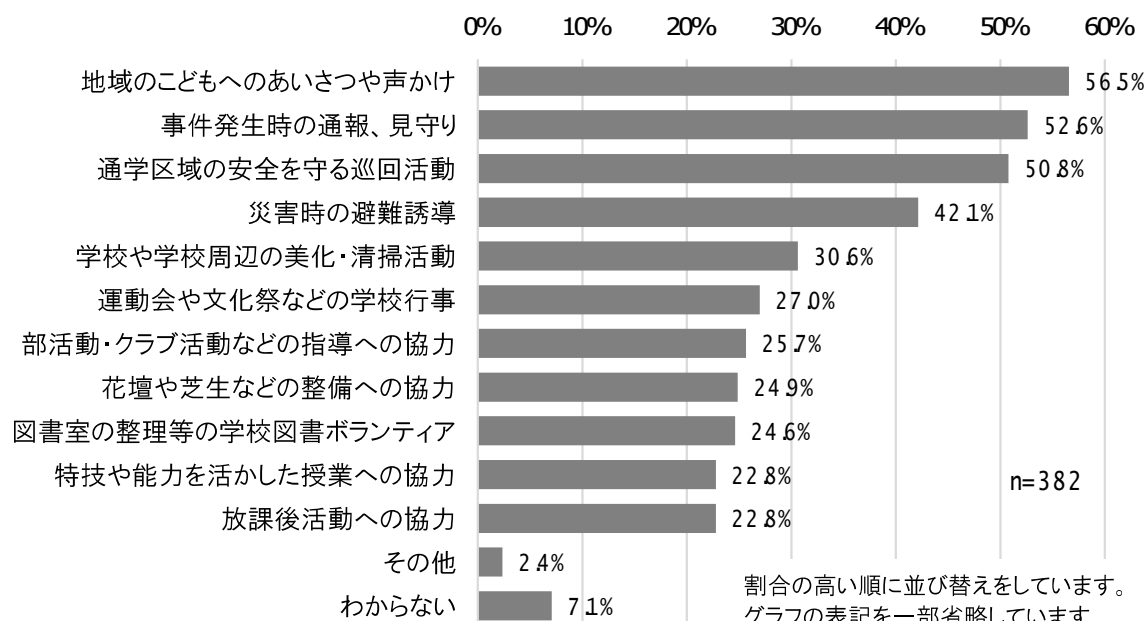
「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が56.5%と最も高く、次いで「事件発生時の通報・見守り」が52.6%、
「子どもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力」が50.8%と続きました。

	N	%
サンプル数	382	100%
地域の子どもへのあいさつや声かけ	216	56.5%
子どもたちの通学区域の安全を守る巡回活動への参加・協力	194	50.8%
運動会や文化祭などの学校行事への参加・協力	103	27.0%
学校や学校周辺の美化・清掃活動への参加・協力	117	30.6%
特技や能力を活かした授業への協力	87	22.8%
部活動・クラブ活動などの指導への協力	98	25.7%
放課後活動への協力	87	22.8%
読み聞かせや図書室の整理等の学校図書ボランティア	94	24.6%
花壇や芝生などの整備への協力	95	24.9%
災害時の避難誘導	161	42.1%
事件発生時の通報・見守り	201	52.6%
その他	9	2.4%
わからない	27	7.1%
無回答	11	2.9%

こどもの区立小中学校通学経験について「ある」「ない」とともに「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が最も高く、次いで「巡回活動の参加・協力」が続いています。「子どもはいない」では、「事件発生時の通報・見守り」が最も高く、次いで「地域の子どもへのあいさつや声かけ」が続いています。

「その他」の具体的な内容

時間がないのでできない、早朝登校の見守り、授業に取り入れれないと効果は発揮できないのでは など



問21 最後に図書館についてお伺いします。あなたは日ごろ、区立図書館をどのくらい利用していますか。(ひとつだけ)

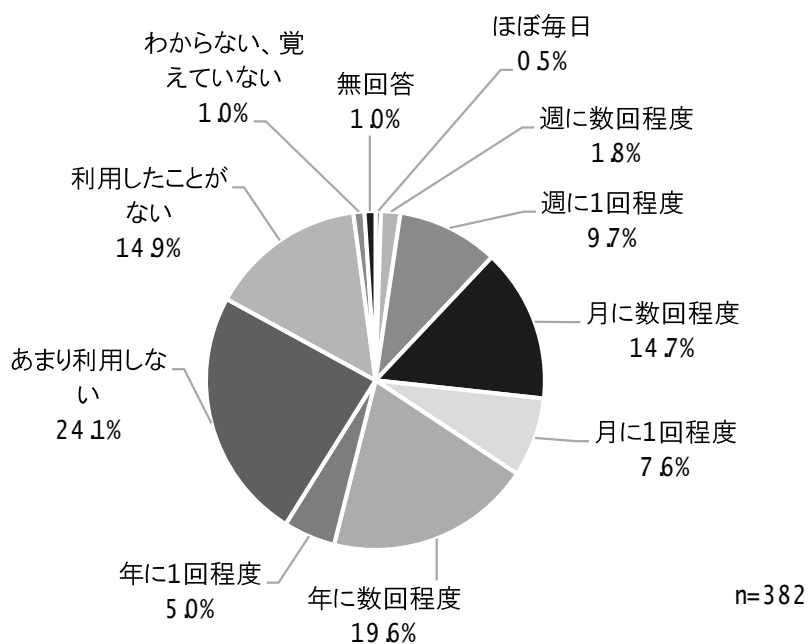
「あまり利用しない」が24.1%で最も高く、次いで「年に数回程度」が19.6%、「利用したことがない」が14.9%と続きました。34.3%が月に1回以上の利用(月に1回程度含む)をしている一方で、39.0%が図書館を利用していない(「あまり利用しない」を含む)結果となりました。

	N	%
サンプル数	382	100%
ほぼ毎日	2	0.5%
週に数回程度	7	1.8%
週に1回程度	37	9.7%
月に数回程度	56	14.7%
月に1回程度	29	7.6%
年に数回程度	75	19.6%
年に1回程度	19	5.0%
あまり利用しない	92	24.1%
利用したことがない	57	14.9%
わからない、覚えていない	4	1.0%
無回答	4	1.0%

年齢別では、20代～30代では「利用したことがない」が最も高く、20代は31.8%、30代は20.6%でした。

40代は「年に数回程度」が24.0%で最も高く、50代上は「あまり利用しない」が最も高くなっています。

一方、18～19歳は「週に数回程度」・「年に数回程度」・「年に1回程度」が同率でした。



問22 区立図書館を利用している方にお尋ねします。図書館を利用する目的は何ですか。（いくつでも）

※問21で区立図書館を「利用したことがある」と回答した者のみに質問

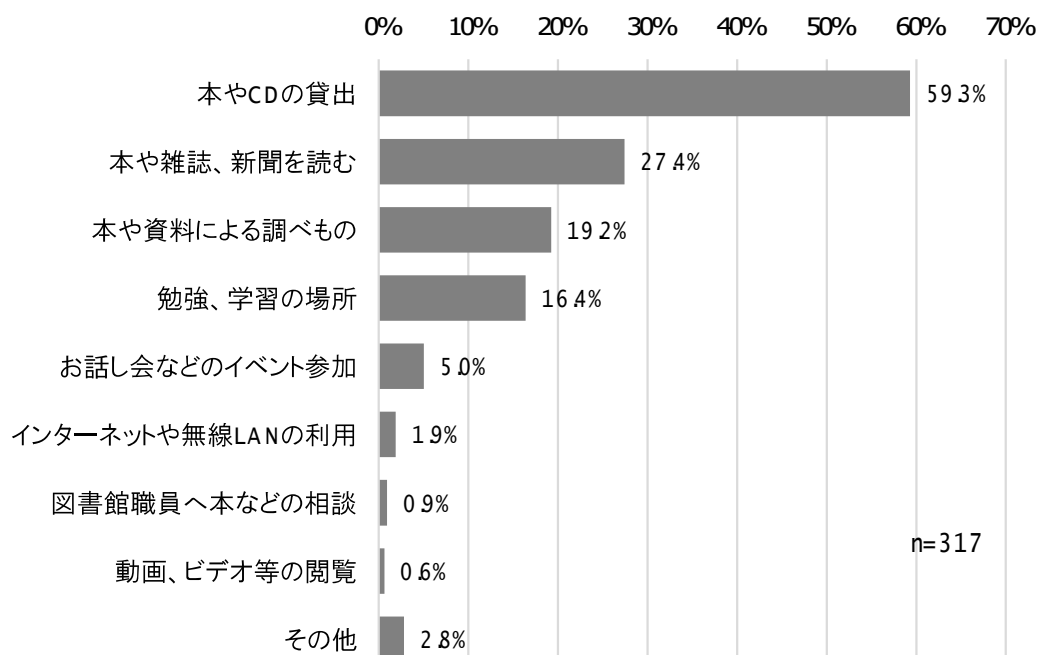
図書館を利用したことがあると回答した317名のうち、「本やCDの貸出」が59.3%と最も高く、次いで「本や雑誌、新聞を読む」が27.4%、「本や資料による調べもの」が19.2%と続いています。

各年代とも「本やCDの貸出」が最も高くなっており、次いで20代～30代は「勉強、学習の場所」が、40代以上は「本や雑誌、新聞を読む」が続いています。

	N	%
サンプル数	317	100%
本やCDの貸出	188	59.3%
本や雑誌、新聞を読む	87	27.4%
本や資料による調べもの	61	19.2%
動画、ビデオ等の閲覧	2	0.6%
勉強、学習の場所	52	16.4%
インターネットや無線LANの利用	6	1.9%
図書館職員へ本などの相談	3	0.9%
お話し会などのイベント参加	16	5.0%
その他	9	2.8%
無回答	37	9.7%

「その他」の具体的な内容

学術資料の利用、インターネットで十分、
テレワーク、気分転換 など



割合の高い順に並び替えをしています。

問23 区立図書館で取り組んでほしいことは何ですか。(いくつでも)

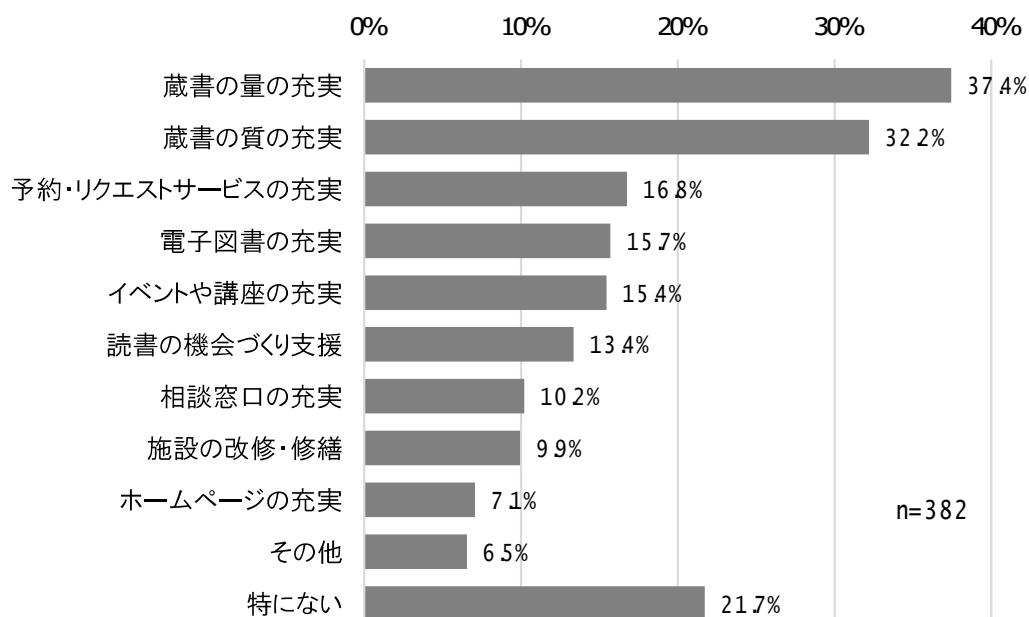
「蔵書の量の充実」が37.4%と最も高く、次いで「蔵書の質の充実」が32.2%、「予約・リクエストサービスの充実」が16.8%と続いています。

年齢別では、20代は「特にない」が、30代～50代は「蔵書の量の充実」が、60代以上では「蔵書の質の充実」が最も高くなっています。次いで、20代は「蔵書の量の充実」が、30代～50代は「蔵書の質の充実」が、40代は同率で「予約・リクエストサービスの充実」が、60代以上は「蔵書の量の充実」が続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
蔵書の量の充実	143	37.4%
蔵書の質の充実	123	32.2%
電子図書の充実	60	15.7%
イベントや講座の充実	59	15.4%
予約・リクエストサービスの充実	64	16.8%
読書の機会づくり支援(おすすめ書籍の紹介など)	51	13.4%
ホームページの充実	27	7.1%
本や調べものに関する相談窓口の充実	39	10.2%
施設の改修・修繕	38	9.9%
その他	25	6.5%
特にない	83	21.7%
無回答	22	5.8%

「その他」の具体的な内容

学習スペースの拡充(5)、用途外利用の注意、一般の図書館を増やす、心地よい空間作り、マンガを増やす、普段本を読まない人への発信、本と地域・学生間の交流の場にする など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

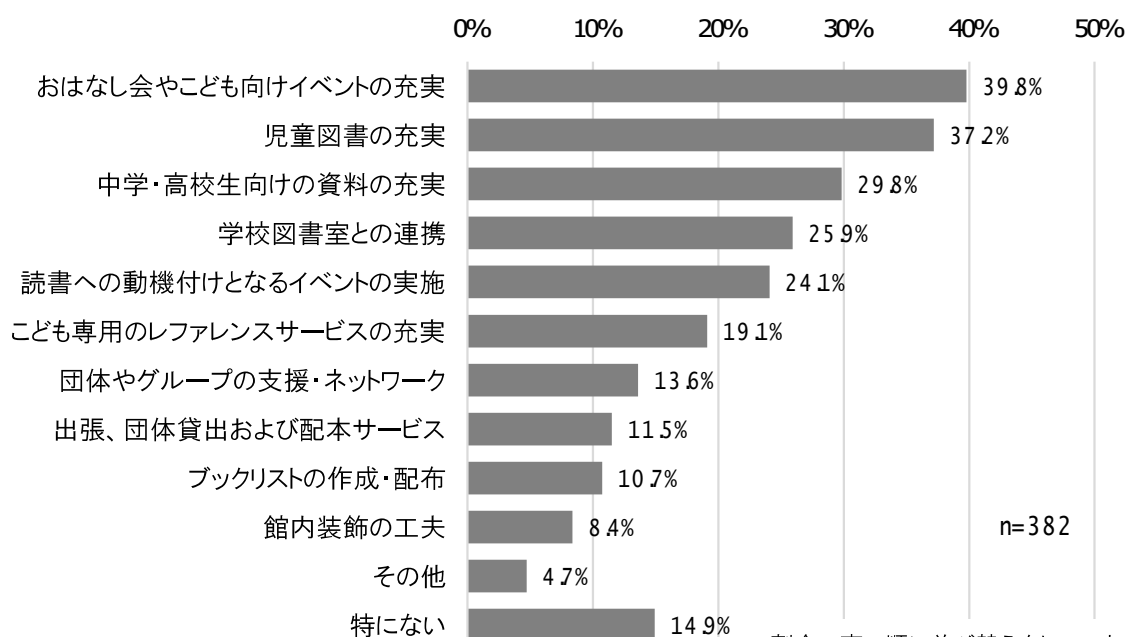
問24 こどもの読書活動を推進するため、区立図書館において、どのような取り組みが必要であると考えますか。(いくつでも)

「おはなし会や子ども向けイベントの充実」が39.8%と最も高く、次いで「児童図書の充実」が37.2%、「中学・高校生向けの資料の充実」が29.8%と続いています。

	N	%
サンプル数	382	100%
おはなし会や子ども向けイベントの充実	152	39.8%
児童図書の充実	142	37.2%
館内装飾の工夫	32	8.4%
中学・高校生向けの資料の充実	114	29.8%
中学・高校生の読書への動機付けとなるイベントの実施	92	24.1%
ブックリストの作成・配布	41	10.7%
子ども専用のレファレンス(調べもの支援)サービスの充実	73	19.1%
学校図書室との連携	99	25.9%
こどもの読書活動に関わっている団体やグループへの支援およびネットワークづくり	52	13.6%
子育て支援施設などへの出張、団体貸出および配本サービス	44	11.5%
その他	18	4.7%
特にない	57	14.9%
無回答	23	6.0%

「その他」の具体的な内容

自習スペースの用意(3)、親への促し、マンガを増やす、地元書店員や企業とのコラボレーション、読書量に応じたインセンティブ、気軽に足を運べるようにする など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問25 こどもたちの教育についてご意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

全部で85件の意見があり、その中で「学び・育ち」に関する意見が多く、40件ありました。

次いで、「つながり」に関する意見が29件ありました。

なお、定性調査のため、意見数はあくまで参考値です。

	意見数
1. 学び・育ち	40
2. 自分らしさ	15
3. 環境	10
4. つながり	29
ICT	14

※1人で複数個の記述があったものは、複数の項目でカウントしているため、合計数は85件以上となります。

※定性調査のため、割合は算出せず。

第3部 小中学生向け調査結果

1 調査概要

(1) 目的

本調査は、「教育推進プラン・江東」の次期計画策定にあたり、小中学生を対象に、江東区の教育について、教育に関するニーズや課題等を抽出し、計画の基礎資料として活用するものです。

(2) 対象

江東区立小学校に在籍する児童(4～6年生)…1,500名

江東区立中学校に在籍する生徒(1～3年生)…1,500名

(3) 実施方法

本人の入力によるWEB回答方式。

(4) 実施時期

2024年10月16日～11月11日

※調査依頼状に記載した回答締切は10月31日でしたが、衆議院議員選挙と重なるなどで回答者への到着が遅くなったため、回収日を11月11日に延期しました。

(5) 回収結果

小・中学生全体

配布数…3,000名

回収数…435名

回収率…14.5%

小学生

配布数…1,500名

回収数…234名

回収率…15.6%

中学生

配布数…1,500名

回収数…201名

回収率…13.4%



調査依頼文

2 集計結果

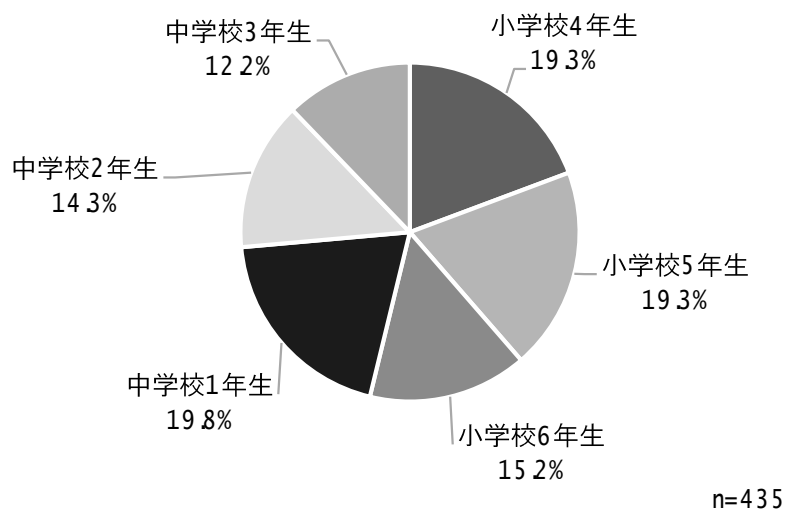
※問34の自由記述を除いて、全問回答必須

問1 あなたの学年はどれですか？(ひとつだけ)

「中学1年生(義務教育学校7年生)」が19.8%と最も高く、次いで「小学4年生」・「小学5年生」が19.3%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
小学校4年生	84	19.3%
小学校5年生	84	19.3%
小学校6年生	66	15.2%
中学校1年生(義務教育学校7年生)	86	19.8%
中学校2年生(義務教育学校8年生)	62	14.3%
中学校3年生(義務教育学校9年生)	53	12.2%
その他	0	0.0%

Nは回答者数を示しています。
%は回答者数に対して、各項目の回答数の割合を、小数点第2位を四捨五入して示しています。

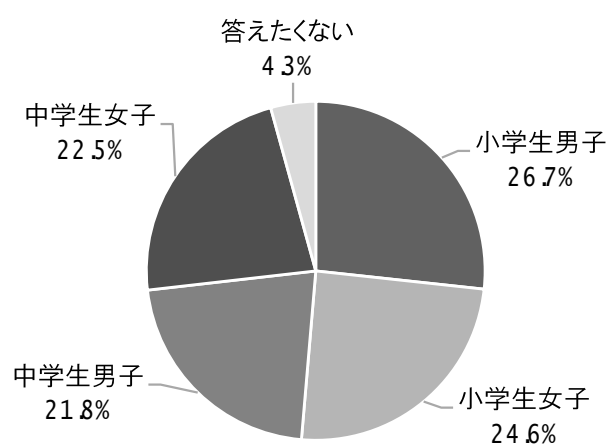


問2 あなたの性別はどれですか？(ひとつだけ)

男子が48.5%、女子が47.1%、「答えたくない」が4.4%でした。小中学生別では、小学生男子が最も高く26.7%で、次いで小学生女子が24.6%と続きました。

	N	%
サンプル数	435	100%
男子	211	48.5%
女子	205	47.1%
答えたくない	19	4.4%

	N	%
サンプル数	435	100%
小学生男子	116	26.7%
小学生女子	107	24.6%
中学生男子	95	21.8%
中学生女子	98	22.5%
答えたくない	19	4.3%



n=435

問3 あなたの家の地区はどこですか？(ひとつだけ)

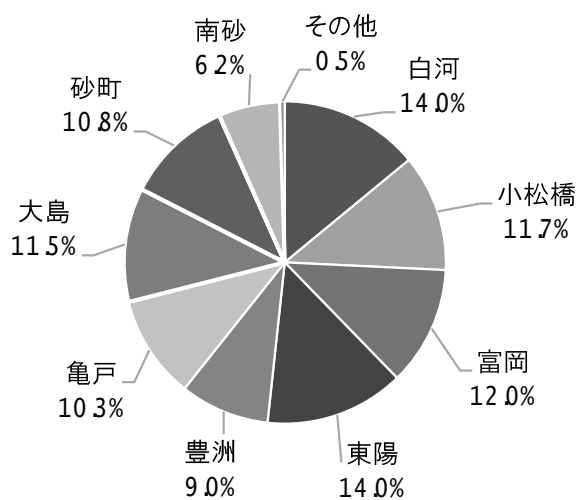
「白河」と「東陽」がともに14.0%と最も高く、次いで「富岡」が12.0%、「小松橋」が11.7%と続いています。

小中学生別では、小学生は「白河」が15.4%、中学生は「東陽」が14.4%が最も高く、次いで小学生は「東陽」が13.7%、中学生は「白河」が12.4%が続いています。

男女別では、男子は「東陽」が17.5%、女子は「白河」が17.6%が最も高く、次いで男子は「富岡」が14.2%、女子は「小松橋」が14.1%が続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
白河	61	14.0%
小松橋	51	11.7%
富岡	52	12.0%
東陽	61	14.0%
豊洲	39	9.0%
亀戸	45	10.3%
大島	50	11.5%
砂町	47	10.8%
南砂	27	6.2%
その他	2	0.5%

その他…猿江、東砂



n=435

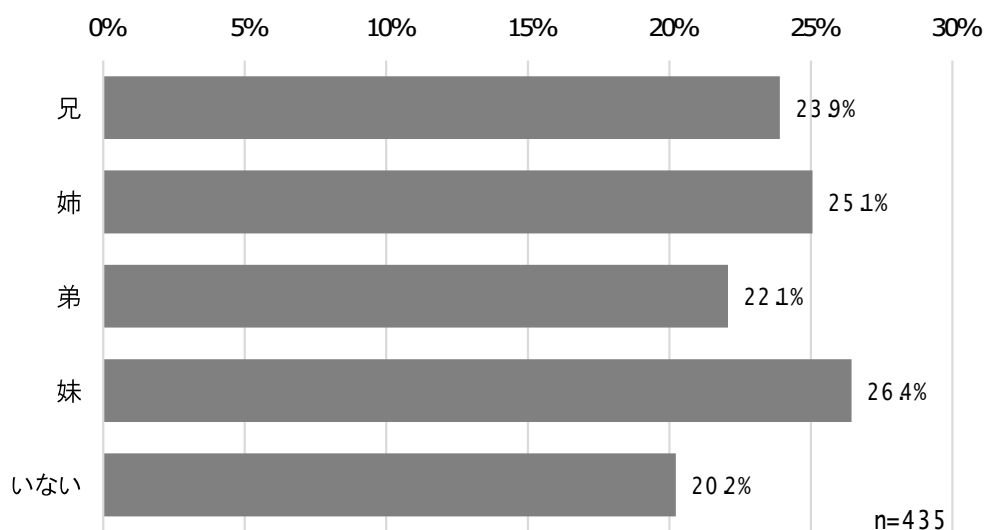
問4 あなたにきょうだいはいますか？(いくつでも)

全体では、「妹」が26.4%と最も高く、次いで「姉」が25.1%、「兄」が23.9%と続いています。「いない」と回答したのは20.2%でした。

小中学生別では、小学生・中学生ともに「妹」が最も高く（小学生は26.9%、中学生は25.9%）、次いで、小学生は「姉」が26.1%、中学生は「兄」が25.4%と続いています。

男女別では、男子は「姉」が27.5%で、女子は「妹」が26.3%と最も高く、次いで男子は「妹」が26.5%、女子は「兄」が25.9%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
兄	104	23.9%
姉	109	25.1%
弟	96	22.1%
妹	115	26.4%
いない	88	20.2%



問5

＜学校について＞
学校は楽しいですか？(ひとつだけ)

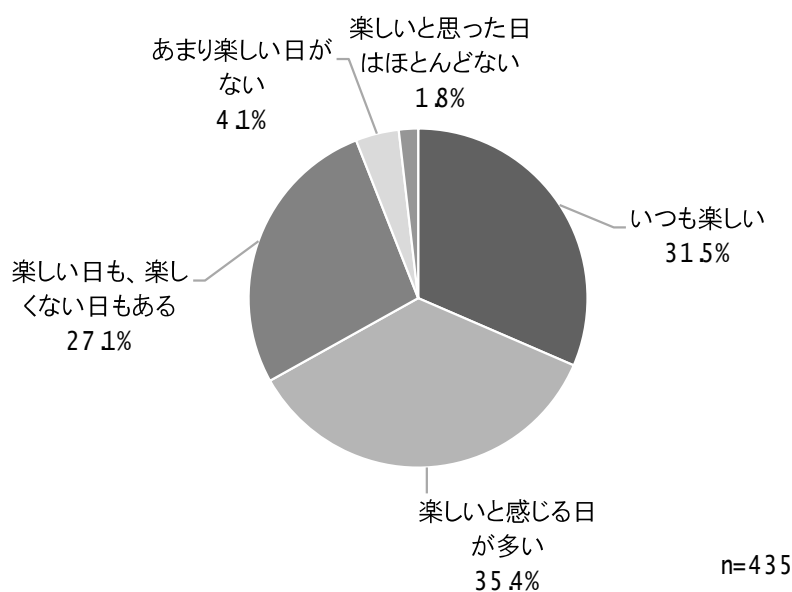
全体では、「楽しいと感じる日が多い」が最も高く、35.4%でした。次いで、「いつも楽しい」が31.5%、「楽しい日も、楽しくない日もある」が27.1%と続いています。

66.9%が「学校が楽しい」と感じており、5.9%は「学校が楽しくない」と感じています。

小中学生別では、小学生は「いつも楽しい」が33.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じる日が多い」が31.6%と続いています。中学生は「楽しいと感じる日が多い」が最も高い39.8%で、次いで「いつも楽しい」が29.4%と続いています。

男女別では、男女子ともに「楽しいと感じる日が多い」（男子は37.9%、女子は34.1%）が最も高く、次いで「いつも楽しい」（男子は31.3%、女子は33.7%）と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
いつも楽しい	137	31.5%
楽しいと感じる日が多い	154	35.4%
楽しい日も、楽しくない日もある	118	27.1%
あまり楽しい日がない	18	4.1%
楽しいと思った日はほとんどない	8	1.8%



問6 楽しいと思う理由は次のどれですか？(いくつでも)

※問5で「いつも楽しい」「楽しいと感じる日が多い」「楽しい日も、楽しくない日もある」と回答した者のみに質問

「仲の良い友だちがいる」が最も高く、87.8%でした。次いで、「給食がおいしい」が53.5%、「部活動やクラブ活動が楽しい」が48.4%と続いています。

小学生は「仲の良い友だちがいる」が91.7%と最も高く、次いで「給食がおいしい」が67.1%と続いています。

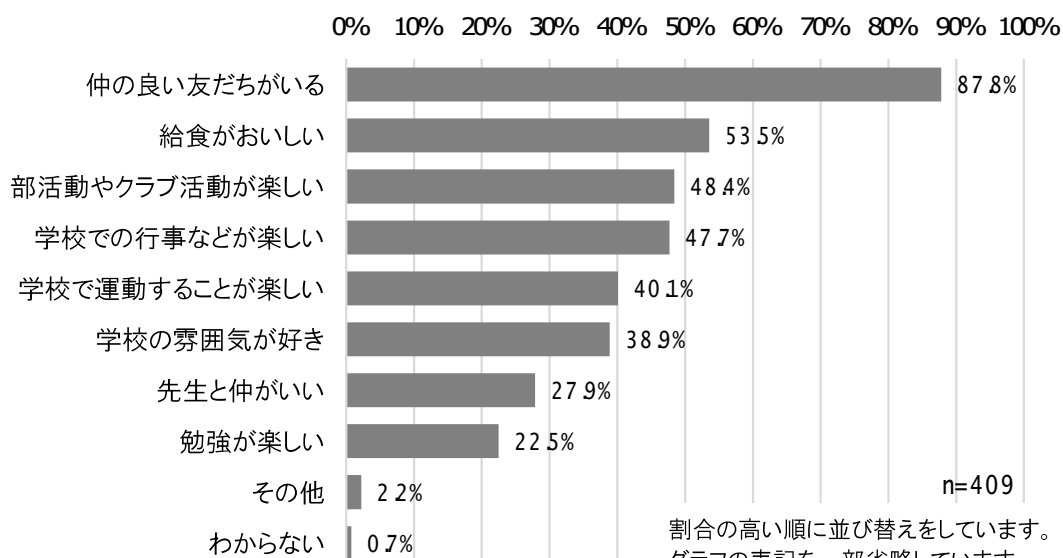
中学生は「仲の良い友だちがいる」が83.4%と最も高く、次いで「部活動やクラブ活動が楽しい」が46.1%と続いています。

また、男女別ではともに「仲の良い友だちがいる」（男子は87.0%、女子は89.2%）が最も高く、次いで男子は「給食がおいしい」が54.0%、女子は「学校での行事などが楽しい」が55.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	409	100%
学校の雰囲気（ふんいき）が好き	159	38.9%
先生と仲がいい	114	27.9%
仲の良い友だちがいる	359	87.8%
勉強が楽しい	92	22.5%
学校で運動することが楽しい	164	40.1%
部活動やクラブ活動が楽しい	198	48.4%
給食がおいしい	219	53.5%
学校での行事などが楽しい	195	47.7%
その他	9	2.2%
わからない	3	0.7%

「その他」の具体的な内容

友達と遊ぶ(2)、係活動が楽しい、班の中で面白い子がいる、20分休みの鬼ごっこ、集会が面白くて楽しい、クラスの雰囲気が良い、学校が終わった時の達成感 など



問7 楽しくないと思う理由はどれですか？(いくつでも)

※問5で「楽しい日も、楽しくない日もある」「あまり楽しい日がない」「楽しいと思った日はほとんどない」と回答した者のみに質問

「勉強が楽しくない」が43.8%と最も高く、次いで「学校の雰囲気や環境が好きではない」が27.1%、「学校で運動することが楽しくない」が22.9%と続いています。

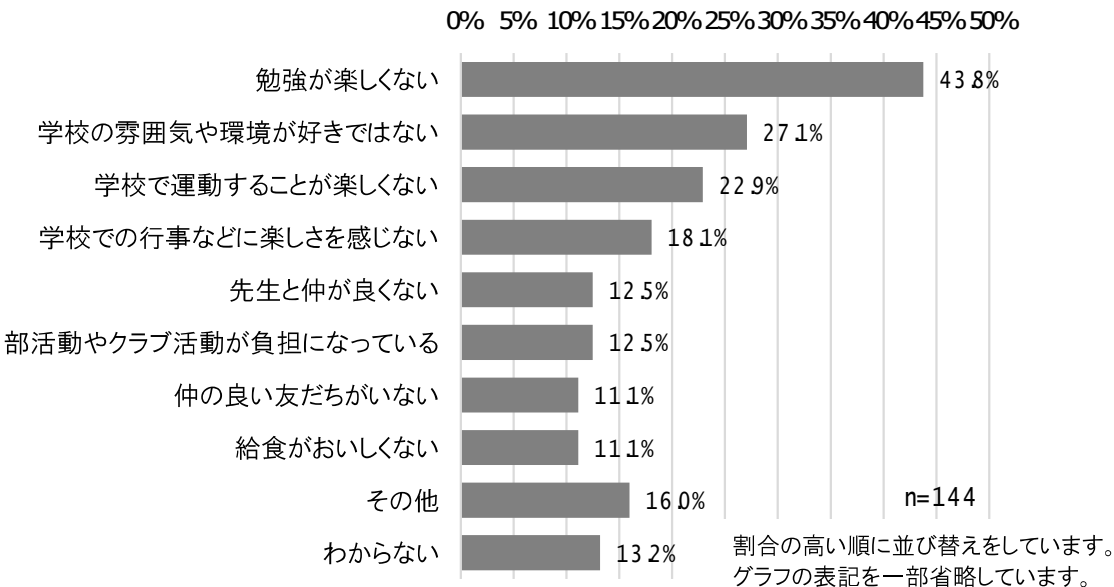
小中学生別では、「勉強が楽しくない」(小学生は39.0%、中学生は50.0%)が最も高く、次いで小中学生ともに「学校の雰囲気や環境が好きではない」(小学生は26.8%、中学生は27.4%)が続きました。

男女別も同様に「勉強が楽しくない」(男子は40.0%、女子は43.9%)が最も高く、次いで男子は「学校の雰囲気や環境」が26.2%、女子は「学校の雰囲気や環境」・「運動することが楽しくない」が各28.8%と続いています。

	N	%
サンプル数	144	100%
学校の雰囲気や環境が好きではない	39	27.1%
先生と仲が良くない	18	12.5%
仲の良い友だちがいない	16	11.1%
勉強が楽しくない	63	43.8%
学校で運動することが楽しくない	33	22.9%
部活動やクラブ活動が負担になっている	18	12.5%
学校での行事などに楽しさを感じない	26	18.1%
給食がおいしくない	16	11.1%
その他	23	16.0%
わからない	19	13.2%

「その他」の具体的な内容

嫌なことをいってくる人がいる、忘れ物が怖い、暴力を振るってくるひともいる、友達関係が好きじゃない(4)、学校行事が負担、仲のいい友達がすくない、先生に連帯責任で怒られるのが怖い、校庭が狭く外遊びをさせてくれない、給食が苦手、嫌いな授業があるとき、お腹が空いて勉強に集中できない、給食の時間が短すぎる、集団が苦手、勉強が優しすぎてつまらない、勉強についていけない、友達と喧嘩をすることがある など



問8 学校の授業はわかりやすいですか？(ひとつだけ)

「まあまあわかる」が40.9%と最も高く、次いで「よくわかる」が36.8%、「たまにわからないことがある」が17.9%と続いています。77.7%が授業が分かったと感じている一方で、4.3%が授業が分からないと感じています。

小学生は「よくわかる」が46.2%と最も高く、次いで「まあまあわかる」が35.0%と続いています、
中学生は「まあまあわかる」が47.8%と最も高く、次いで「よくわかる」が25.9%と続いています。
また、「わからないことが多い、まったくわからない」を合算すると、小学生は3.0%で、中学生は6.0%でした。

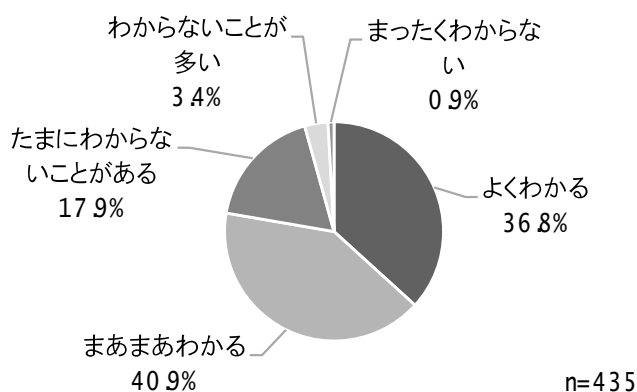
一方、男女別では男子・女子ともに「まあまあわかる」（男子は41.7%、女子は39.5）が最も高く、次いで「よくわかる」（男子は39.8%、女子は36.1%）が続いています。

「わからないことが多い、まったくわからない」を合算すると、男子は3.3%で、女子は4.9%でした。

地区別では、小松橋・亀戸・大島地区は「よくわかる」が最も高く、白河・富岡・東陽・豊洲・砂町・南砂地区は「まあまあわかる」が最も高い結果でした。

「わからないことが多い」、「まったくわからない」の合算では、豊洲地区が7.7%と最も高く、次いで亀戸が6.6%、砂町が6.4%、大島が6.0%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
よくわかる	160	36.8%
まあまあわかる	178	40.9%
たまにわからないことがある	78	17.9%
わからないことが多い	15	3.4%
まったくわからない	4	0.9%



問9 あなたにとって学校はどのようなところですか？(いくつでも)

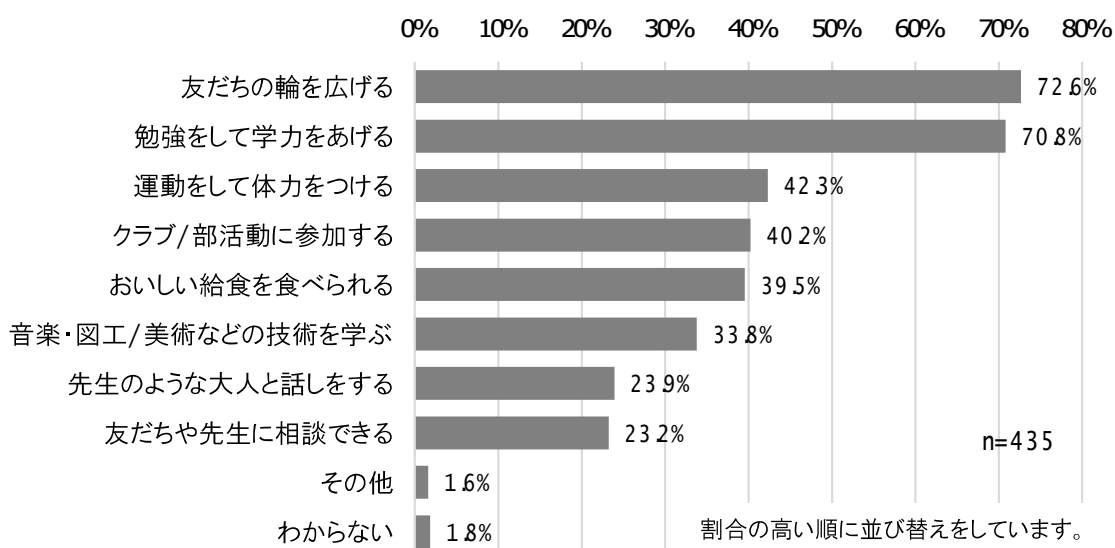
「友だちの輪を広げる」が72.6%と最も高く、次いで「勉強して学力をあげる」が70.8%、「運動して体力をつける」が42.3%と続いています。一方で、「友だちや先生に相談できる」は23.2%と最も低いです。

小学生は「友だちの輪を広げる」が78.2%と最も高く、「勉強して学力を上げる」が65.8%と続きました。
中学生は「勉強して学力を上げる」が76.6%と最も高く、「友だちの輪を広げる」が66.2%と続きました。
地区別に比較すると、白河・小松橋・富岡・東陽・豊洲・砂町地区は「友だちの輪を広げる」が最も高い一方、
亀戸・大島・南砂地区は「勉強をして学力を上げる」が最も高い結果でした。

	N	%
サンプル数	435	100%
勉強をして学力をあげる	308	70.8%
音楽・図工/美術などの技術を学ぶ	147	33.8%
運動をして体力をつける	184	42.3%
友だちの輪を広げる	316	72.6%
先生のような大人と話しをする	104	23.9%
友だちや先生に相談できる	101	23.2%
クラブ/部活動に参加する	175	40.2%
おいしい給食を食べられる	172	39.5%
その他	7	1.6%
わからない	8	1.8%

「その他」の具体的な内容

社会に出てからの人付き合いを学べる、
息抜き、大人になるための道、将来必要
な教養と学力を養う場所、係があつて面
白い時もある、行かないといけないから行
くなど



問10 学校の運動で楽しかったことはどれですか？(いくつでも)

「運動会」が64.8%と最も高く、次いで「プール」が41.8%、「ながなわチャレンジ」が22.3%と続いています。
一方で、8.5%が「楽しかったものはない」と回答しています。

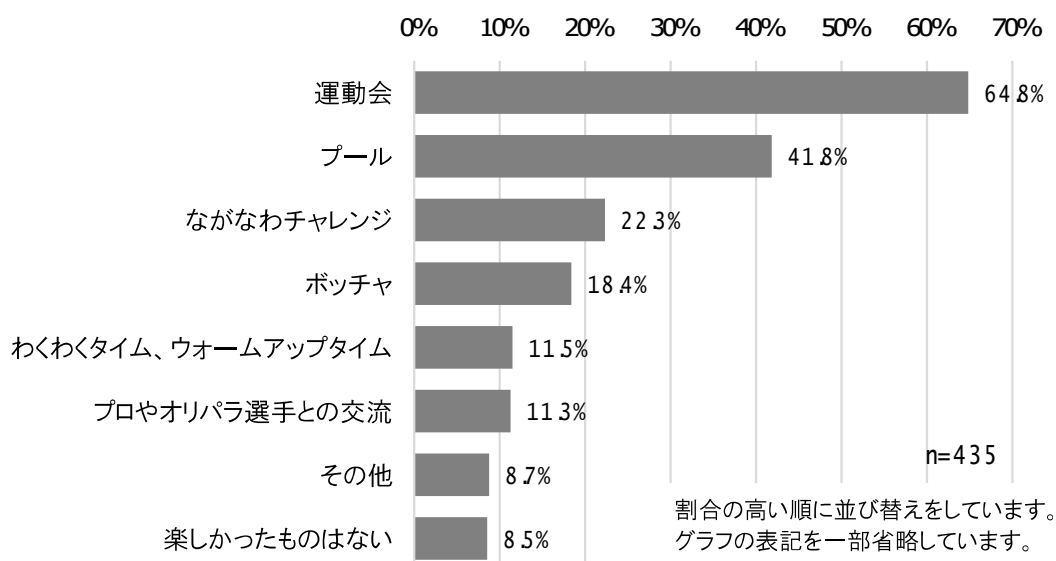
小中学生別では、「運動会」(小学生は63.2%、中学生は66.7%)が最も高く、次いで「プール」(小学生は53.4%、中学生は28.4%)が続いています。一方で、「楽しかったものはない」は小学生が6.0%、中学生が11.4%でした。

男女別では、男子は「運動会」が65.4%と最も高く、次いで「プール」が46.0%、「ボッチャ」が22.7%と続いています。
女子は「運動会」が65.9%と最も高く、次いで「プール」が36.6%、「ながなわチャレンジ」が26.8%と続いています。
一方、「楽しかったものはない」は男子が6.2%で、女子は9.3%です。

	N	%
サンプル数	435	100%
運動会	282	64.8%
ながなわチャレンジ	97	22.3%
ボッチャ	80	18.4%
プール	182	41.8%
わくわくタイム、ウォームアップタイム	50	11.5%
プロの選手やオリンピック・パラリンピック選手との交流	49	11.3%
その他	38	8.7%
楽しかったものはない	37	8.5%

「その他」の具体的な内容

学級会、バドミントン、バスケ、二人三脚、球技大会(2)、修学旅行、移動教室、体育の授業(2)、カヌー体験、球技、サッカーや野球、鉄棒、中休み・昼休み、マラソン大会、席替え、合唱コンクール(4)、ハンドボール、跳び箱、体力テスト、部活(3)、ダンスアカデミー、マット運動、とびばこ柔道、俳句教室 など



問11 自分から進んで学習したいと思えるのはどのような授業ですか？(いくつでも)

「タブレット端末を使っているいろいろなことをする」が49.4%と最も高く、次いで「体力をつける運動」が44.8%、「自然の中での体験」が43.4%と続いています。

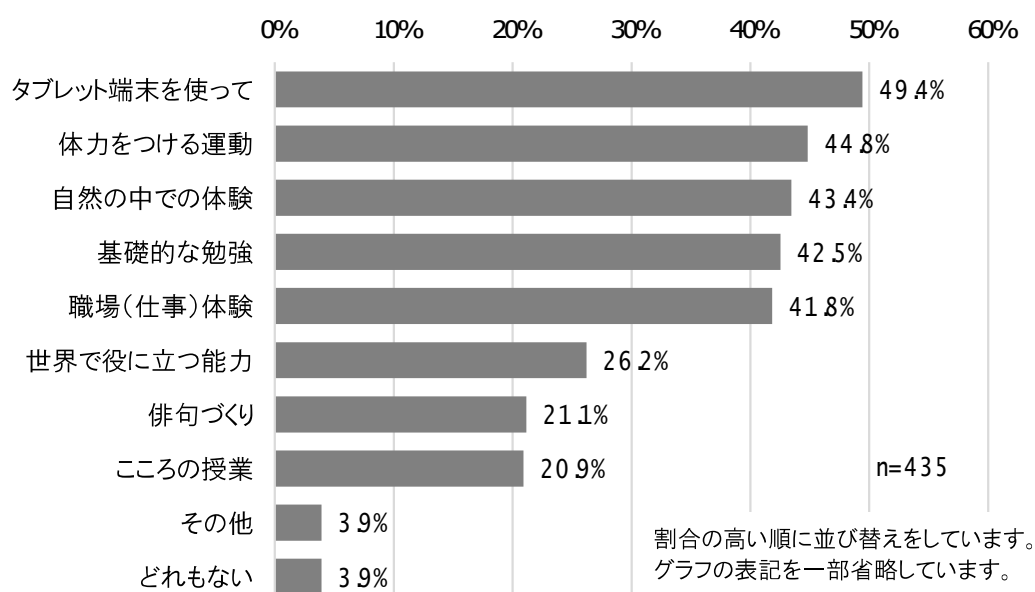
小中学生別では、小学生が「タブレット端末を使っているいろいろなことをする」が61.5%と最も高く、次いで「体力をつける運動」が52.6%と続いています。中学生は「基礎的な勉強」が50.2%と最も高く、次いで「職場(仕事)体験」が40.3%と続いています。

男女別では、男子は「体力をつける運動」が57.8%と最も高く、次いで「タブレット端末を使っているいろいろなことをする」が53.6%と続いています。女子は「職場(仕事)体験」が48.3%と最も高く、次いで「タブレット端末を使っているいろいろなことをする」が46.8%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
基礎的な勉強	185	42.5%
タブレット端末を使っているいろいろなことをする	215	49.4%
世界で役に立つ能力(英語やコミュニケーション能力)	114	26.2%
俳句づくり	92	21.1%
職場(仕事)体験	182	41.8%
自然の中での体験	189	43.4%
体力をつける運動	195	44.8%
こころの授業(自分の大切さやほかの人を認める優しい心を知る)	91	20.9%
その他	17	3.9%
どれもない	17	3.9%

「その他」の具体的な内容

社会科見学などの野外活動、個人作業、先生の進め方がうまく興味をそそられる授業、実験や体験が多い授業、移動教室・修学旅行、柔剣道などの護身術・武道、数学と体育、歴史と美術、楽しい授業、難しい問題、音楽(3)、プログラミング、美術、勉強らしくない授業 など



問12 どのような学校だと勉強や生活がしやすいと思いますか？(いくつでも)

「友だちと過ごせるスペースがある」が72.2%と最も高く、次いで「教室が明るい」が70.3%、「トイレがきれい」が64.6%と続いています。

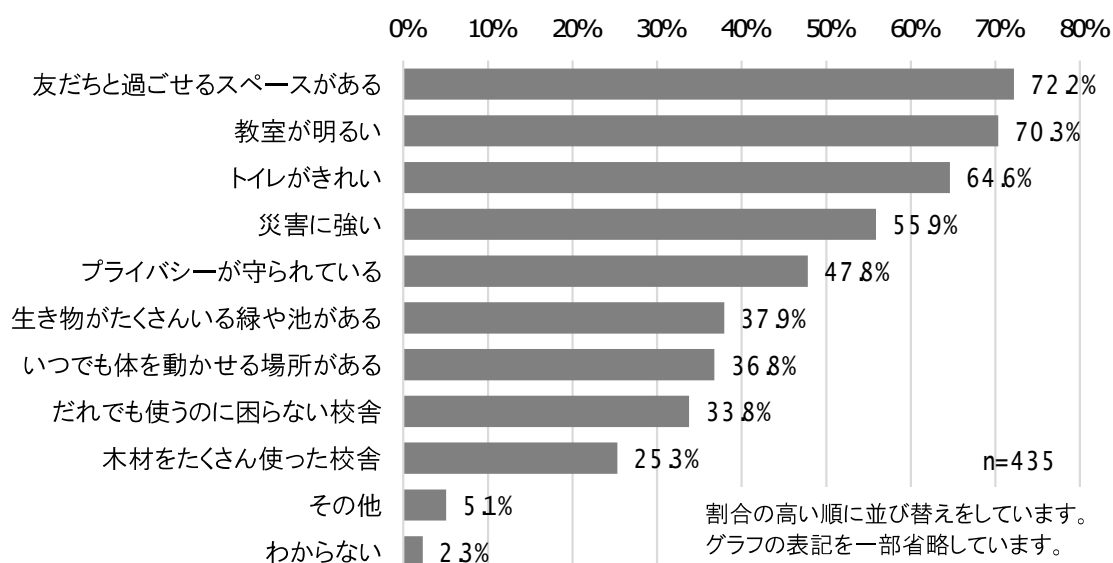
男女別では、男子は「教室が明るい」が67.8%と最も高く、次いで「友だちと過ごせるスペースがある」が66.4%と続いています。女子は「友だちと過ごせるスペースがある」が80.0%と最も高く、次いで「教室が明るい」が74.1%と続いています。

地区別では、小松橋・富岡・東陽は「教室が明るい」が最も高い一方、豊洲・亀戸・大島・砂町・南砂は、「友だちと過ごせるスペースがある」が最も高い結果でした。白河はこの2つが同率で最も高い結果でした。

	N	%
サンプル数	435	100%
教室が明るい	306	70.3%
いつでも体を動かせる場所がある	160	36.8%
トイレがきれい	281	64.6%
生き物がたくさんいる緑や池がある	165	37.9%
友だちと過ごせるスペースがある	314	72.2%
木材をたくさん使った校舎	110	25.3%
だれでも使うのに困らない校舎(ユニバーサルデザイン・ジェンダーフリー)	147	33.8%
プライバシーが守られている	208	47.8%
災害に強い	243	55.9%
その他	22	5.1%
わからない	10	2.3%

「その他」の具体的な内容

クラス替えが多い、クラスを行き来できる、担任の先生次第、全教科習熟度クラス、他学年・他クラスとの交流がある(2)、授業が面白わかりやすい、動きやすい服装でいられる、先生がお気に入りの生徒をつくらない、男女で仲良くしても授業中に騒いだりして妨害するような生徒がいらない(2)、給食がおいしい、同調圧力などが無い、自分のペースで勉強をしたい、クラスの規律が保たれている、大人に頼れる、大人が理解してくれる、家から近い、理不尽な先生がいらないこと、自習スペース、眩しすぎない、自分で考えて行動する学校がいい など



問13 どのような先生が好きですか。または理想だと思いませんか？(いくつでも)

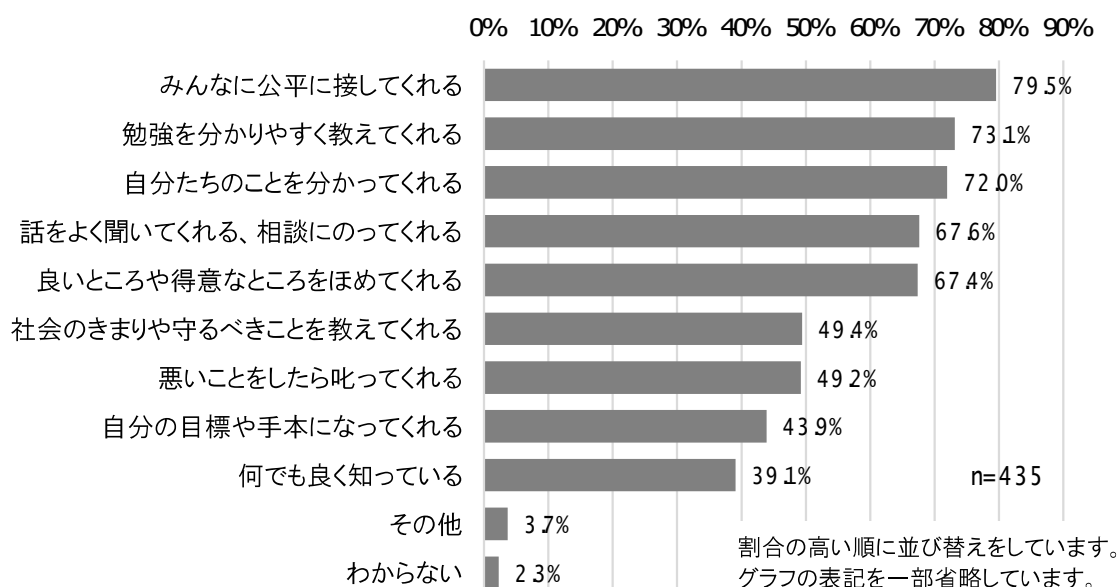
「みんなに公平に接してくれる」が79.5%と最も高く、次いで「勉強を分かりやすく教えてくれる」が73.1%、「自分たちのことを分かってくれる」が72.0%と続いています。

男女別では、「みんなに公平に接してくれる」(男子は77.3%、女子は82.4%)が最も高く、次いで男子は「勉強を分かりやすく教えてくれる」が58.7%、女子は「自分たちのことを分かってくれる」と「勉強を分かりやすく教えてくれる」がともに77.6%で続きました。

	N	%
サンプル数	435	100%
みんなに公平に接してくれる	346	79.5%
話をよく聞いてくれる、相談にのってくれる	294	67.6%
自分たちのことを分かってくれる	313	72.0%
勉強を分かりやすく教えてくれる	318	73.1%
良いところや得意なところをほめてくれる	293	67.4%
社会のきまりや守るべきことを教えてくれる	215	49.4%
悪いことをしたら叱ってくれる	214	49.2%
自分の目標や手本になってくれる	191	43.9%
何でも良く知っている	170	39.1%
その他	16	3.7%
わからない	10	2.3%

「その他」の具体的な内容

優しい、あんまり怒らない、面白い話をしてくれる(4)、優しく接してくれる、連帯責任にしない、遊んでくれる、自分の知らないことを教えてくれる、話が長すぎない、感情で動かない先生、常にみんなのことを考えてくれる、親しみを持って話しかけてくれる先生、自分の意見や友達の意見を聞いて受け入れたりアドバイスをくれたりする先生、普段からコミュニケーションをよくとってくれる、いつも笑顔、評価してくれる など



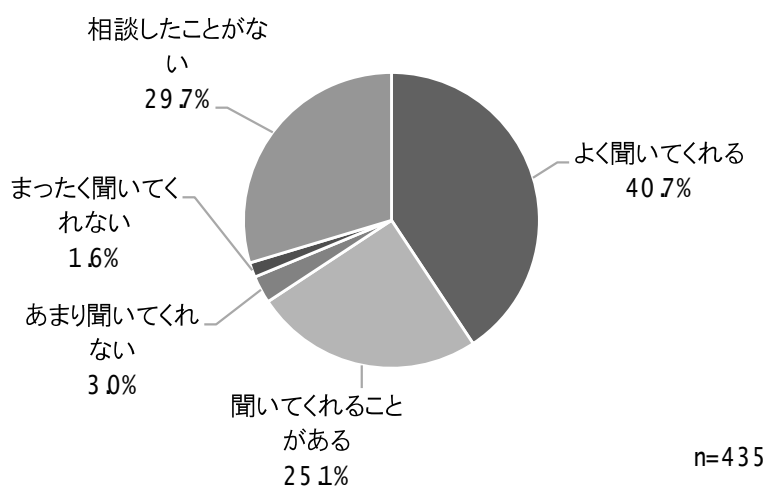
問14 学校の先生は、あなたの相談を聞いてくれますか？(ひとつだけ)

「よく聞いてくれる」が40.7%と最も高い。次いで、「相談したことがない」が29.7%、「聞いてくれることがある」が25.1%と続いています。「よく聞いてくれる」「聞いてくれることがある」を合わせて65.1%でした。

小中学生別では、「よく聞いてくれる」（小学生は43.2%、中学生は37.8%）が最も高く、「聞いてくれることがある」が（小学生は22.6%、中学生は27.9%）続いています。

地区別では、南砂のみ「聞いてくれることがある」が最も高く、その他の地区は「よく聞いてくれる」が最も高いです。

	N	%
サンプル数	435	100%
よく聞いてくれる	177	40.7%
聞いてくれることがある	109	25.1%
あまり聞いてくれない	13	3.0%
まったく聞いてくれない	7	1.6%
相談したことがない	129	29.7%



問15 学校や生活のことで悩んでいることはありますか？ 次の中からあてはまるものを選んでください。（いくつでも）

「悩んでいることはない」を除いて、「勉強に関すること」が25.1%と最も高く、次いで「友だちのこと」が20.0%、「勉強や塾が忙しくて寝る時間が短いこと」が11.0%と続いています。

小学生は「友だちのこと」が21.4%と最も高く、次いで「勉強に関すること」が15.4%を占めています。

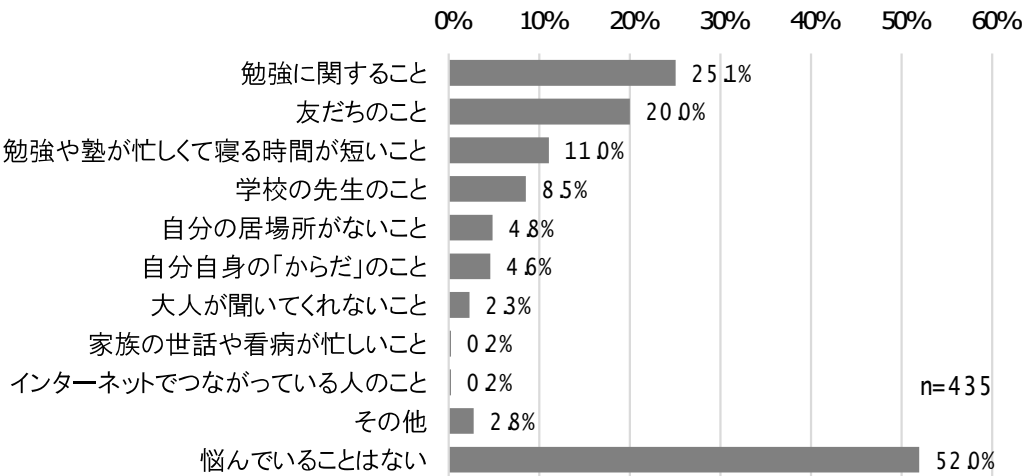
中学生は「勉強に関すること」が36.3%と最も高く、次いで「友だちのこと」が18.4%でした。

地区別では、白河・小松橋・富岡・東陽・豊洲・亀戸・砂町では、「勉強に関すること」が最も高いです。

大島では「友だちのこと」が最も高く、南砂では「友だちのこと」と「勉強や塾が忙しくて寝る時間が短いこと」がともに最も高い結果でした。

	N	%
サンプル数	435	100%
学校の先生のこと	37	8.5%
友だちのこと	87	20.0%
勉強に関すること	109	25.1%
家族の世話や看病（かんびょう）が忙しいこと	1	0.2%
勉強や塾が忙しくて寝る時間が短いこと	48	11.0%
自分の居場所がないこと	21	4.8%
話したいことや相談したいことを大人が聞いてくれないこと	10	2.3%
自分自身の「からだ」のこと	20	4.6%
インターネットでつながっている人（学校の友だち以外）のこと	1	0.2%
その他	12	2.8%
悩んでいることはない	226	52.0%

「その他」の具体的な内容
勉強が進まない、野球の試合に学校公開が重なる、クラスメイトが悪口やからかいを毎日受けている、学校の給食、授業中に騒いだりして妨害するような生徒が数名いて授業に集中できない、いじめ、部活、先生が学校に来ない、担任の先生の授業が分かりづらい、女子に男だろ頑張れと言う、家族と喧嘩すること、学校に行きたくない など



n=435

割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問16 悩みがあった時、誰に相談しますか？(いくつでも)

「両親」が最も高く32.4%で、次いで「友だち」が28.3%、「担任の先生」が14.3%と続いています。

一方、「江東区のSNS教育相談」は0.2%と最も低いです。

	N	%
サンプル数	435	100%
両親	141	32.4%
きょうだい	51	11.7%
祖父母	21	4.8%
友だち	123	28.3%
先輩いや上級生	18	4.1%
担任の先生	62	14.3%
担任以外の学校の先生	27	6.2%
スクールカウンセラー	31	7.1%
スクールソーシャルワーカー	2	0.5%
学校以外(塾、習い事等)の先生	12	2.8%
江東区のSNS教育相談(5to9マンデー なんでもチャット相談)	1	0.2%
きっずクラブや、部活動の指導員	4	0.9%
インターネットの相談コーナー	2	0.5%
いじめ相談ホットラインなどの電話相談	2	0.5%
ネット友人、SNS	8	1.8%
その他	4	0.9%
相談できる人はいない	6	1.4%
相談しようと思わない	24	5.5%

小中学生別では、小学生は「両親」が36.3%と最も高く、次いで「友だち」が28.2%と続いています。

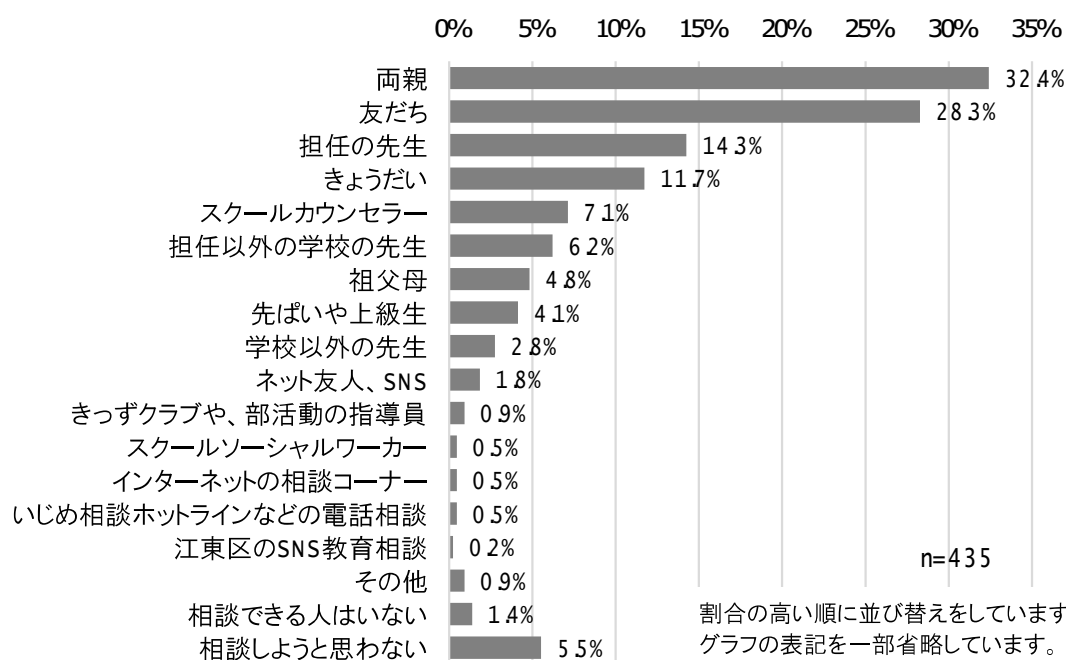
中学生では「友だち」が28.4%と最も高く、次いで「両親」が27.9%と続いています。

地区別では、砂町を除くすべての地区で「両親」が最も高いです。砂町は「両親」と「友だち」がともに29.8%でした。

学年別では、中学1年生を除く全学年では「両親」が最も高いですが、中学1年生は「友だち」が最も高いです。

「その他」の具体的な内容

いとこ、習い事のお兄さん、ママ、習い事の友人



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問17 江東区のSNS教育相談（5to9マンデーなんでもチャット相談）を知っていますか？（ひとつだけ）

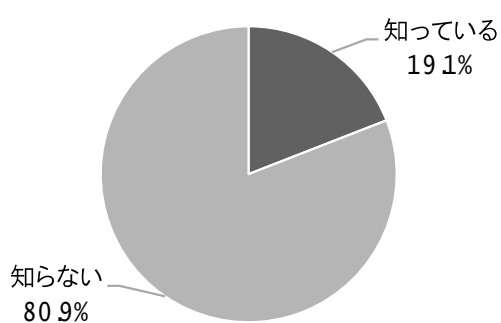
江東区のSNS教育相談（5to9マンデーなんでもチャット相談）について、
「知っている」と回答したのは19.1%で、「知らない」は80.9%でした。

小学生では「知っている」が14.5%、「知らない」が85.5%。中学生では「知っている」が24.4%、「知らない」が75.6%。

学年別では、小学4年生は6.0%、小学5年生が17.9%、小学6年生は21.2%、中学1年生は19.8%、
中学2年生は21.0%、中学3年生は35.8%が「知っている」と回答しました。

地区別では、富岡（25.0%）・東陽（21.3%）・豊洲（20.5%）・砂町（29.8%）の4地区で「知っている」が
20%を超えています。

	N	%
サンプル数	435	100%
知っている	83	19.1%
知らない	352	80.9%



n=435

問18 <タブレット端末について> タブレット端末を学校の授業以外にどのようなことに使っていますか？(いくつでも)

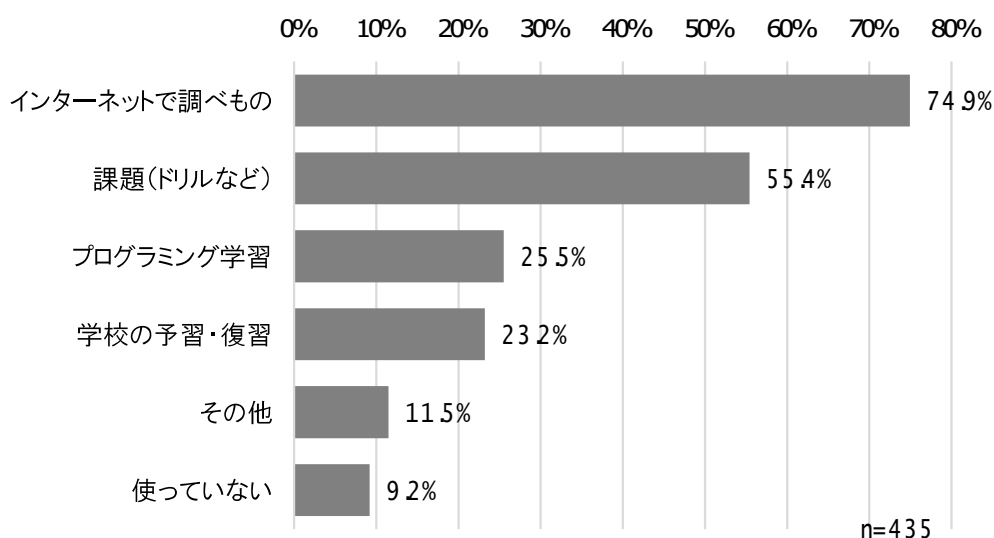
「インターネットで調べもの」が最も高く74.9%でした。次いで、「課題(ドリルなど)」が55.4%、「プログラミング学習」が25.5%と続いています。

小学生・中学生ともに「インターネットで調べもの」(小学生は79.1%、中学生は70.1%)が最も高く、次いで「課題(ドリルなど)」(小学生は60.3%、中学生は49.8%)が続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
課題(ドリルなど)	241	55.4%
学校の予習・復習	101	23.2%
インターネットで調べもの	326	74.9%
プログラミング学習	111	25.5%
その他	50	11.5%
使っていない	40	9.2%

「その他」の具体的な内容

タイピング(19)、クラスルームの確認(5)、授業、スケジュール確認(5)、ゲーム(10)、電子教科書、楽譜を見る、連絡事項を見る、本を読む、動画鑑賞、生徒会(2)、ポスター作り、ドリルパーク、スクラッチ、翻訳、NHK for School 宿題



割合の高い順に並び替えをしています。

問19 タブレット端末を使ってやってみたいことはありますか？(いくつでも)

「動画やイラストの編集」が最も高く50.8%でした。次いで、「休んだ時のオンライン授業」が41.6%、「絵やイラストを描く」が37.2%と続いています。

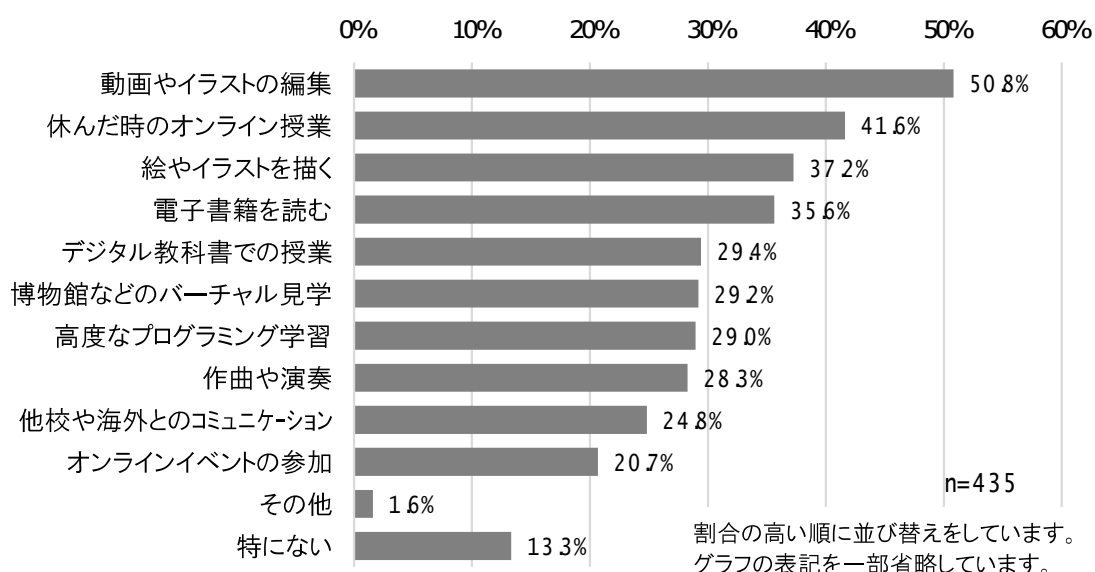
小中学生別では、「動画やイラストの編集」(小学生は53.8%、中学生は47.3%)が最も高く、次いで「休んだ時のオンライン授業」(小学生は46.6%、中学生は35.8%)が続いています。

男女別では、「動画やイラストの編集」(男子は46.0%、女子は56.1%)が最も高く、次いで男子は「高度なプログラミング学習」が37.9%、女子は「絵やイラストを描く」が47.3%と続きました。

	N	%
サンプル数	435	100%
デジタル教科書での授業	128	29.4%
休んだ時のオンライン授業	181	41.6%
他の学校や海外とのコミュニケーション	108	24.8%
動画やイラストの編集	221	50.8%
絵やイラストを描く	162	37.2%
高度な(少しむずかしい)プログラミング学習	126	29.0%
オンラインで博物館などのバーチャル見学	127	29.2%
オンラインイベントの参加	90	20.7%
作曲や演奏(えんそう)	123	28.3%
電子書籍(しよせき)を読む	155	35.6%
その他	7	1.6%
特にな	58	13.3%

「その他」の具体的な内容

音楽を聴く、YouTubeを見る(2)、キャンバ、スライドやPowerPointでの発表、タイピング、オンライン電話



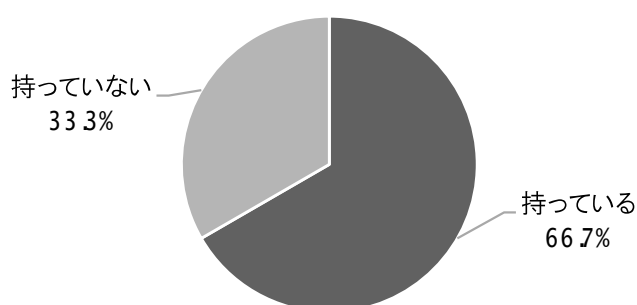
問20 <スマートフォンについて> あなたは自分のスマートフォンを持っていますか？(ひとつだけ)

スマートフォンを「持っている」と回答したのは66.7%で、「持っていない」と回答したのは33.3%でした。3人に2人がスマートフォンを所持しています。

小中学生を比較すると、小学生では「持っている」が45.3%に対して中学生では「持っている」が91.5%でした。学年別では、小学4年生は26.2%、小学5年生は44.0%、小学6年生は71.2%、中学1年生は93.0%、中学2年生は87.1%、中学3年生は94.3%が「持っている」と回答しました。

地区別の「持っている」割合は、白河が57.4%、小松橋が56.9%と、2地区は60%を下回りました。60%台は、富岡(61.5%)、豊洲(69.2%)、大島(64.0%)の3地区です。70%台は、東陽(72.1%)、亀戸(77.8%)、砂町(72.3%)、南砂(74.1%)の4地区です。

	N	%
サンプル数	435	100%
持っている	290	66.7%
持っていない	145	33.3%



n=435

問21 あなたはSNSを利用していますか？（ひとつだけ）

※問20でスマートフォンを「持っている」と回答した者のみに質問

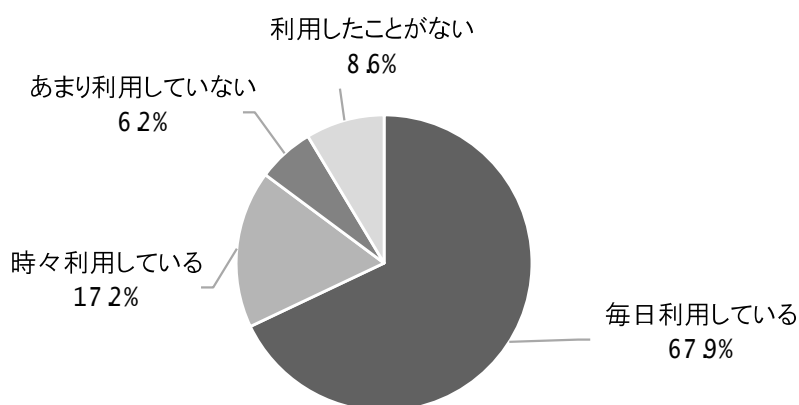
スマートフォンを持っていると回答した290名のうち、SNSを「毎日利用している」が最も高く67.9%でした。

一方で、スマートフォンを持っていると回答した290名のうち、「利用したことがない」は8.6%でした。

男女別では、「毎日利用している」が男子は60.9%、女子は74.0%です。「時々利用している」を含めると、男子では81.2%が利用し、女子は88.4%が利用しています。

小中学生別では、小学生は「毎日利用している」が46.2%、「時々利用している」が27.4%に対して、中学生は「毎日利用している」が80.4%、「時々利用している」は11.4%でした。

	N	%
サンプル数	290	100%
毎日利用している	197	67.9%
時々利用している	50	17.2%
あまり利用していない	18	6.2%
利用したことがない	25	8.6%



n=290

問22 SNSで悪口やいじめを経験したことはありますか？（ひとつだけ）

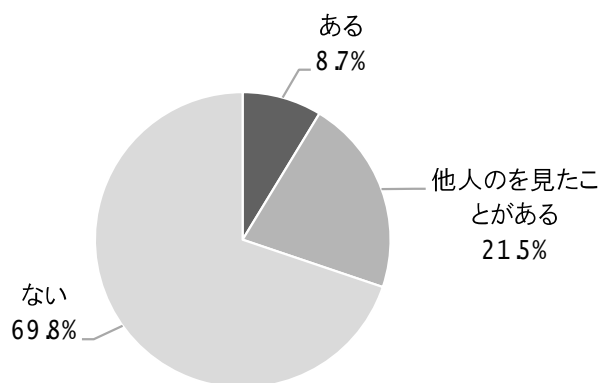
※問21でSNSを「利用している」と回答した者のみに質問

スマートフォン所持かつSNS利用をしている265名のうち、SNS上で悪口やいじめを経験したことが「ある」のは8.7%でした。SNS上での悪口やいじめを「見たことがある」のは21.5%でした。

男女別では、男子で「ある」は11.7%、「見たことがある」は18.3%でした。女子では「ある」は5.2%、「見たことがある」が24.4%でした。

小中学生別では、小学生で「ある」は8.0%、「見たことがある」は14.8%です。中学生で「ある」は9.0%、「見たことがある」は24.9%です。

	N	%
サンプル数	265	100%
ある	23	8.7%
自分はないが、他人が悪口やいじめを されているのを見たことがある	57	21.5%
ない	185	69.8%



n=265

問23 <放課後について> 「Challenge Wednesday」は主にどのように過ごしていますか？（いくつでも）

「自宅で勉強」が50.8%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」が43.0%、「習い事」が24.6%と続いています。

「自宅で勉強」は小学生が56.4%、中学生が44.3%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」は小学生が46.6%、中学生が38.8%と続いています。

また、小学5年生・小学6年生・中学2年では「自宅で勉強」が最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」が続いています。

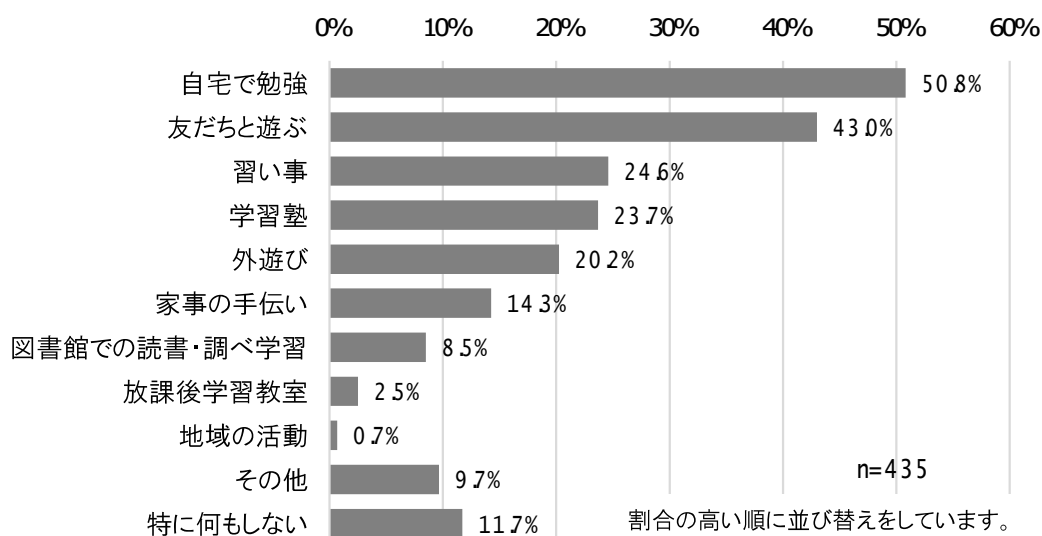
中学1年生は「友だちと遊ぶ」が47.7%と最も高く、次いで「自宅で勉強」が43.0%です。

中学3年生は「自宅で勉強」が47.2%と最も高く、次いで「学習塾」が30.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
自宅で勉強	221	50.8%
学習塾	103	23.7%
習い事	107	24.6%
放課後学習教室	11	2.5%
図書館での読書・調べ学習	37	8.5%
地域の活動	3	0.7%
家事の手伝い	62	14.3%
友だちと遊ぶ	187	43.0%
外遊び	88	20.2%
その他	42	9.7%
特に何もしない	51	11.7%

「その他」の具体的な内容

趣味のことをまとめる、自分の作った物語を提出、調べ物(3)、ドッジボール、読書、部活の自主練、テレビを観る、体力づくり、ゲーム(7)、タイピング、サッカーの自主練(2)、絵を描く、睡眠、課題・タブレット、友達と遊び勉強する、折り紙、パパと野球練習、学校に行っていない(3)、中学生なので無い、Challenge Wednesdayを知らない、スマホ、けがの治療(2)、課題 など



問24 放課後どのようにして過ごすことが多いですか？(いくつでも)

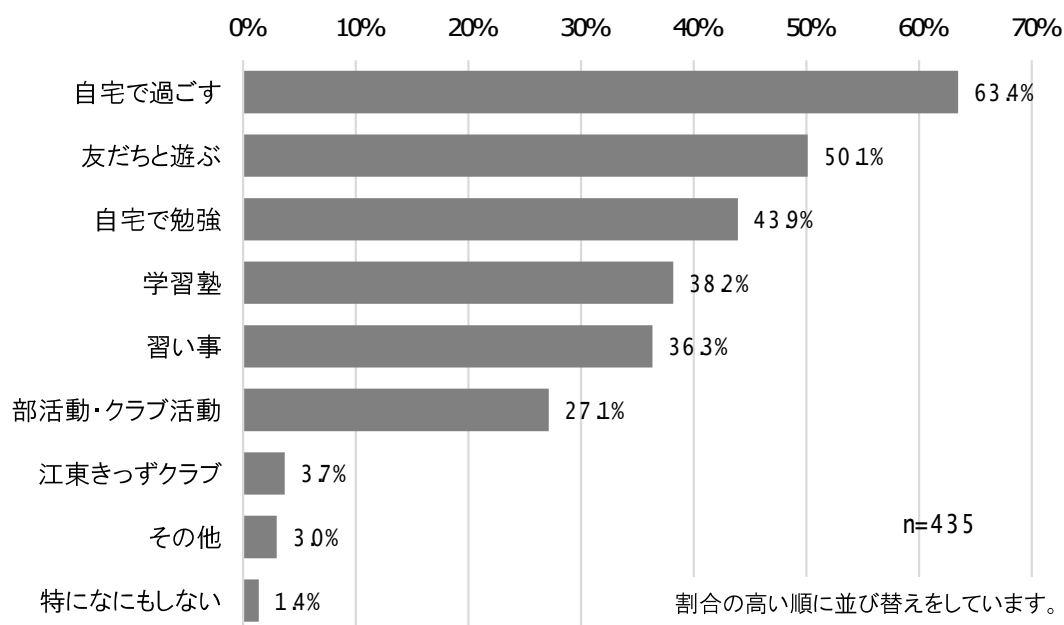
「自宅で過ごす(勉強以外)」が最も高い63.4%でした。次いで、「友だちと遊ぶ」が50.1%、「自宅で勉強」が43.9%と続いています。

小学生は「友だちと遊ぶ」が62.4%と最も高く、次いで「自宅で過ごす(勉強以外)」が56.8%と続いています。
中学生は「自宅で過ごす(勉強以外)」が71.1%と高く、次いで「部活動・クラブ活動」が53.7%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
自宅で過ごす(勉強以外)	276	63.4%
自宅で勉強	191	43.9%
学習塾	166	38.2%
習い事	158	36.3%
江東きっずクラブ	16	3.7%
部活動・クラブ活動	118	27.1%
友だちと遊ぶ	218	50.1%
その他	13	3.0%
特になにもしない、わからない	6	1.4%

「その他」の具体的な内容

電車を観に行く、自習室に行く、公園に行く、サッカーの練習、散歩、スポーツクラブへ行く、絵を描く、タブレット、宿題、ゲーム(3)など



問25 学校の授業や登校以外で、ふだん1日にどのくらいの時間運動をしていますか？
(ひとつだけ)

「ほとんどしない(15分未満)」が23.9%と最も高く、次いで「30分くらい」が17.9%、「1時間くらい」が14.3%と続いています。

男子は「30分くらい」が19.4%と最も高く、次いで「1時間くらい」が17.1%と続いています。

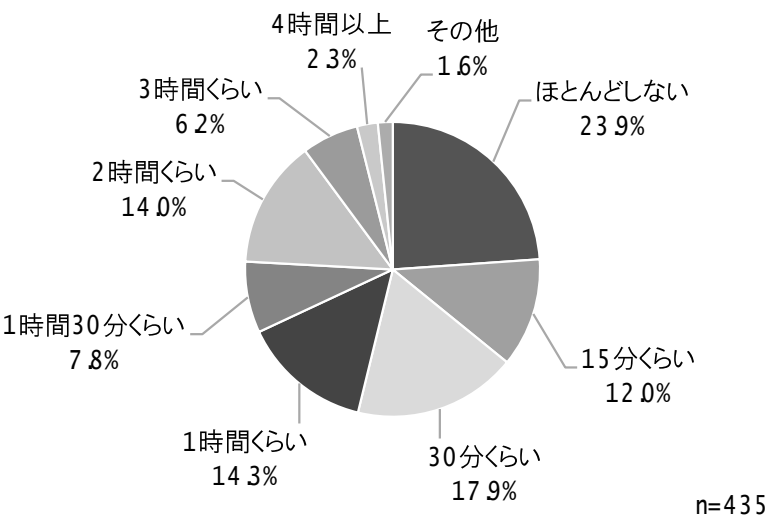
女子は「ほとんどしない」が28.8%と最も高く、次いで「30分くらい」が16.6%と続いています。

小学生は「30分くらい」が23.9%と最も高く、「ほとんどしない」が16.7%と続いています。

中学生は「ほとんどしない」が32.3%と最も高く、「2時間くらい」が19.9%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
ほとんどしない(15分未満)	104	23.9%
15分くらい	52	12.0%
30分くらい	78	17.9%
1時間くらい	62	14.3%
1時間30分くらい	34	7.8%
2時間くらい	61	14.0%
3時間くらい	27	6.2%
4時間以上	10	2.3%
その他	7	1.6%

「その他」の具体的な内容
 土日6時間以上・平日1時間30分、2時間30分くらい、部活引退前は2時間・引退後は20分くらい、2～4時間、月曜1時間・金曜1時間、週1日2時間、土日祝日は終日野球



問26 あなたは習い事や部活動、クラブ活動をしていますか？(いくつでも)

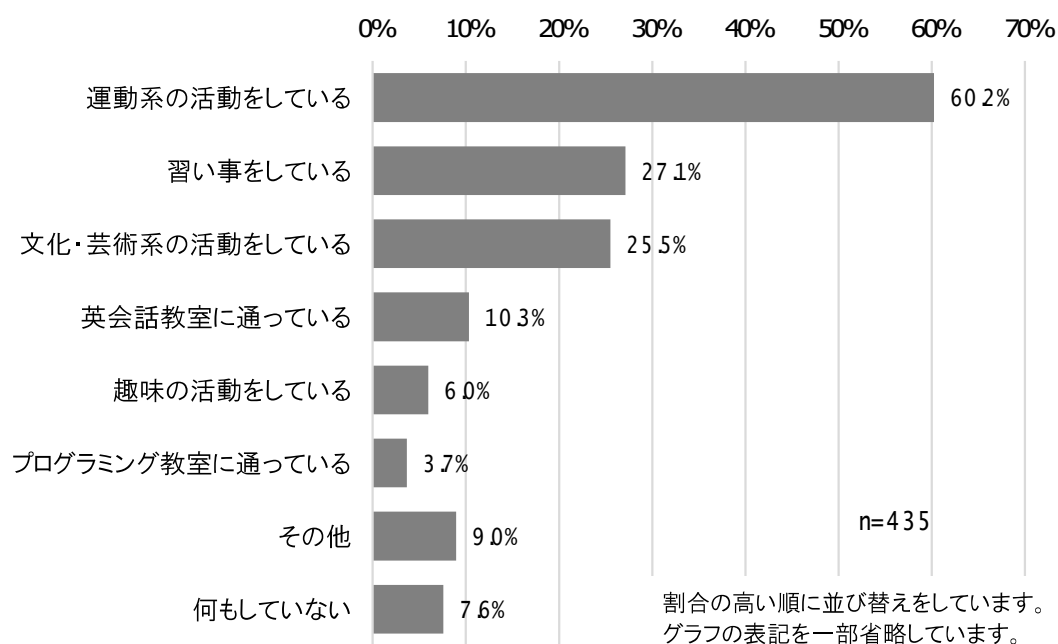
「運動系の活動をしている」が最も高い60.2%で、次いで「習い事(料理、書道、華道、茶道など)」が27.1%、「文化・芸術系の活動(音楽、美術など)」が25.5%でした。

男子は「運動系の活動をしている」が73.0%と最も高く、次いで「習い事をしている」が20.4%と続いています。
女子は「運動系の活動をしている」は50.7%と最も高く、次いで「文化・芸術系の活動をしている」が37.1%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
運動系の活動をしている	262	60.2%
文化・芸術系の活動をしている（音楽、美術など）	111	25.5%
習い事をしている（料理、書道、華道、茶道など）	118	27.1%
英会話教室に通っている	45	10.3%
趣味の活動をしている（将棋、囲碁など）	26	6.0%
プログラミング教室に通っている	16	3.7%
その他	39	9.0%
何もしていない	33	7.6%

「その他」の具体的な内容

そろばん、英語を学ぶ、オンライン英会話、塾(23)、科学部、ブックトーク、工作クラブ、廃部になった、和太鼓部



問27 体育の授業やクラブ、部活動以外で、よくやるスポーツは何ですか？(いくつでも)

「球技(団体)」が最も高い31.0%で、次いで「水泳・スイミング」が22.8%、「体操・ダンス」が21.6%と続いています。

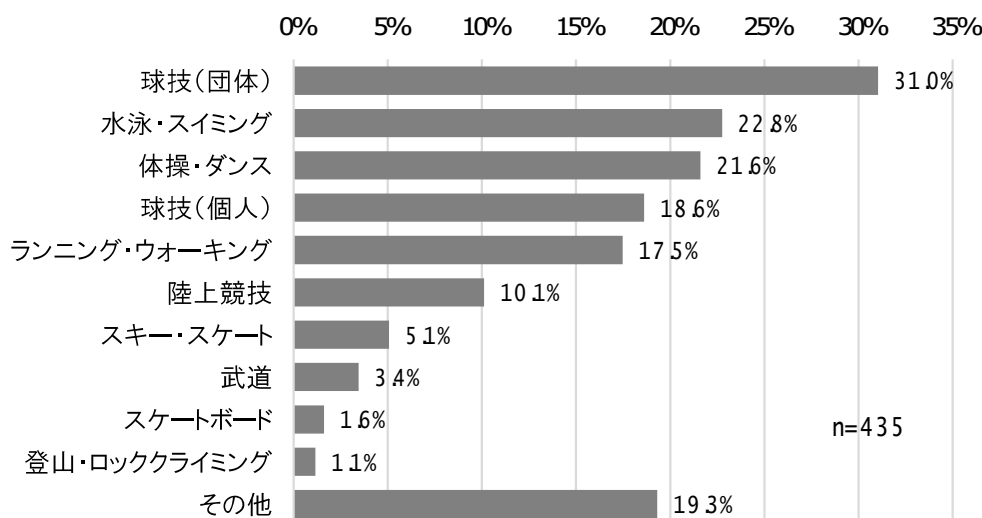
男子は「球技(団体)」が47.9%と最も高く、次いで「球技(個人)」が21.3%と続いています。

女子は「体操・ダンス」が30.7%と最も高く、次いで「その他」が25.4%、「水泳・スイミング」が24.9%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
球技(個人)	81	18.6%
球技(団体)	135	31.0%
武道	15	3.4%
体操・ダンス	94	21.6%
水泳・スイミング	99	22.8%
ランニング・ウォーキング	76	17.5%
陸上競技	44	10.1%
登山・ロッククライミング	5	1.1%
スキー・スケート	22	5.1%
スケートボード	7	1.6%
その他	46	19.3%
なにもやらない	38	8.7%

「その他」の具体的な内容

何もやらない(38)、バドミントン(5)、サッカー(2)、サイクリング(3)、アクロバット、バレーボール、テニス(2)、チアリーディング(1)、バレエ(5)、鬼ごっこ(6)、ドッジボール(1)、一輪車、水泳、ブレイクボード、運動施設での運動、バランスボール、空手、筋トレ(2)、ラントレ、キャッチボール、なわとび、乗馬、剣道 など



割合の高い順に並び替えをしています。

問28 住んでいる地域の行事（こども会、祭りなど）にどの程度参加していますか？ （いくつでも）

「学校や町会のお知らせを見て、興味があれば参加している」が最も高い52.6%でした。次いで、「友だちに誘われた時は参加している」が41.8%、「ほとんど参加しない」が20.7%と続いています。

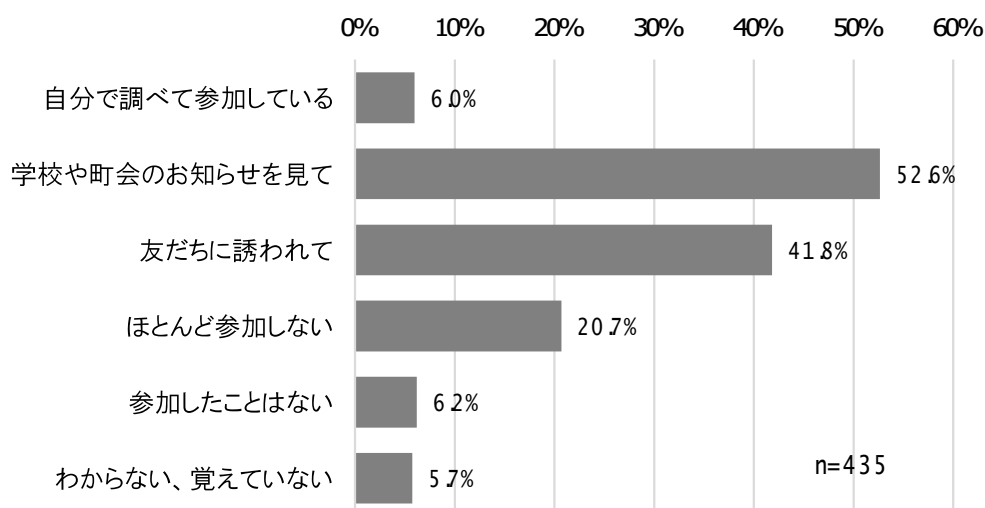
男子女子ともに「興味があれば参加している」（男子は53.1%、女子は52.7%）が最も高く、次いで「誘われた時は参加している」（男子は37.4%、女子は49.3%）と続いています。

地区別では「参加したことはない」が最も高かったのは豊洲で12.8%でした。

「自分で調べて参加している・興味があれば参加している」の合計では、白河が80.3%と最も高く、次いで富岡（59.6%）、大島（58.0%）、東陽（57.4%）と続いています。

学年別の「自分で調べて参加している・興味があれば参加している」の合計では、小学5年生が72.6%と最も高く、次いで小学4年生が71.4%、小学6年生が59.1%、中学1年生が58.2%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
地域の行事予定を自分で調べて参加している	26	6.0%
学校や町会のお知らせを見て、興味があれば参加している	229	52.6%
友だちに誘われた時は参加している	182	41.8%
ほとんど参加しない	90	20.7%
参加したことはない	27	6.2%
わからない、覚えていない	25	5.7%



問29 <自分について> 自分は幸せだと思いますか？(ひとつだけ)

「とても幸せ」が最も高く41.8%でした。次いで、「幸せ」が40.5%と、合算して82.3%が幸せだと思っています。一方で、「あまり幸せではない」・「全く幸せではない」と思っている児童生徒が3.4%います。

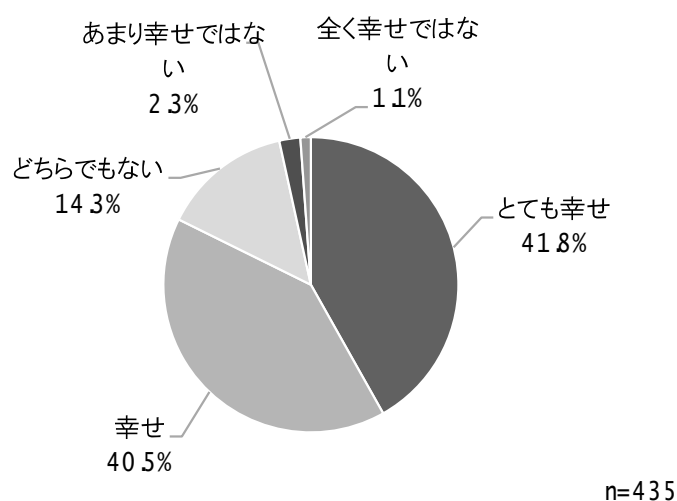
男子は「幸せ」が40.8%、「とても幸せ」が40.3%で、合計が81.1%、「幸せではない」は3.3%です。

女子は「とても幸せ」が45.4%、「幸せ」が39.5%で、合計が84.9%、「幸せではない」は2.9%です。

小学生は「とても幸せ」が52.1%、「幸せ」が34.2%で、合計が86.3%、「幸せではない」は2.2%です。

中学生は「幸せ」が47.8%で、「とても幸せ」が29.9%で、合計が77.7%で、「幸せではない」は5.0%です。

	N	%
サンプル数	435	100%
とても幸せ	182	41.8%
幸せ	176	40.5%
どちらでもない	62	14.3%
あまり幸せではない	10	2.3%
全く幸せではない	5	1.1%



問30 将来どのような大人になりたいと思いますか？（いくつでも）

「人を思いやる心を持っている人」が72.9%と最も高く、次いで「家族を大切にする人」が68.5%など、多くの項目を半数以上が選びました。

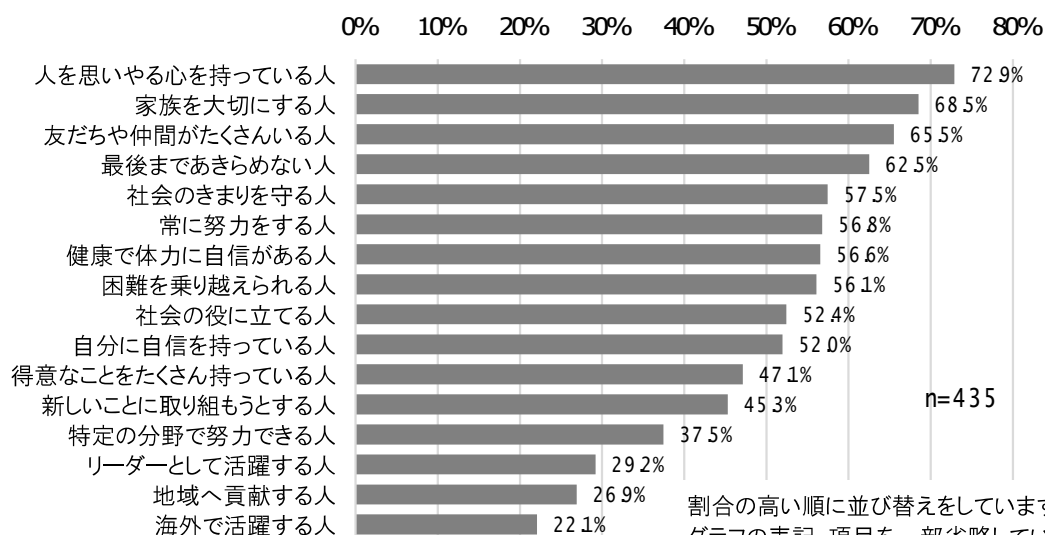
一方、「海外で活躍する人」が22.1%と最も低く、次いで「地域へ貢献する人」が26.9%、「リーダーとして活躍する人」が29.2%と、3項目が3割を下回っています。

	N	%
サンプル数	435	100%
人を思いやる心を持っている人	317	72.9%
自己肯定感をもち、自分に自信を持っている人	226	52.0%
困難(こんな)を乗り越えられる人	244	56.1%
家族を大切にする人	298	68.5%
友だちや仲間がたくさんいる人	285	65.5%
健康で体力に自信がある人	246	56.6%
常に努力をする人	247	56.8%
夢を実現するために、最後まであきらめない人	272	62.5%
社会のきまりを守る人	250	57.5%
新しいことに取り組もうとする人	197	45.3%
社会の役に立てる人	228	52.4%
海外で活躍する人	96	22.1%
得意なことをたくさん持っている人	205	47.1%
リーダーとして活躍する人	127	29.2%
スポーツや芸術など、特定の分野で努力できる人	163	37.5%
地域へ貢献する人	117	26.9%
その他	7	1.6%
特に思いつかない、わからない	19	4.4%

男子は「友だちや仲間がたくさんいる人」が68.7%と最も高く、次いで「人を思いやる心を持っている人」が65.4%と続いています。女子は、「人を思いやる心を持っている人」が81.5%と最も高く、次いで「家族を大切にする人」が75.1%と続いています。

「その他」の具体的な内容

芯のある人、家族を大切にできる人、誰にでも平等に優しく明るく接する人、夢を持っている人、趣味を仕事にしている人、英語が喋れる人 など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記・項目を一部省略しています。

問31 <図書館について> 区立図書館をどのくらい利用していますか？(ひとつだけ)

区立図書館の利用について、「あまり利用しない」が25.3%と最も高く、次いで「年に数回程度」が24.4%、「月に数回程度」が15.2%と続いています。また、「利用したことがない」は6.4%でした。

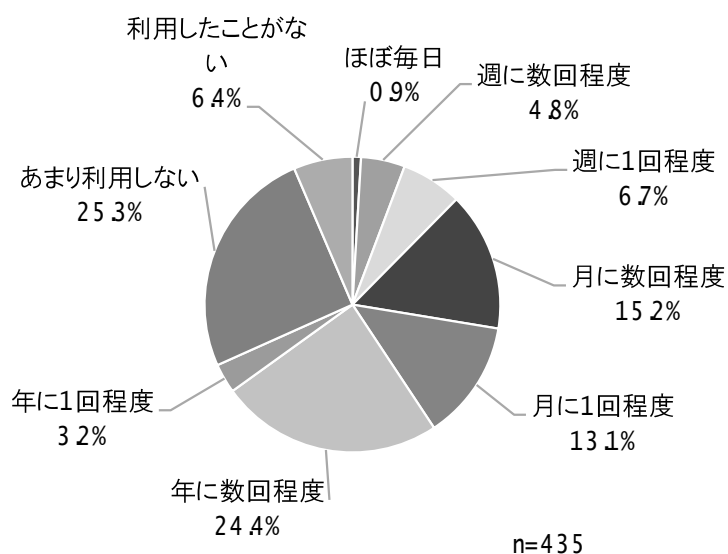
小学生では「年に数回程度」が22.2%と最も高く、次いで「月に数回程度」が17.1%と続いています。

中学生では「あまり利用しない」が32.8%と最も高く、次いで「年に数回程度」が26.9%と続きました。

男子は「あまり利用しない」が27.0%と最も高く、女子は「年に数回程度」が最も高い23.9%でした。

「ほぼ毎日」「週に数回程度」の合計では、男子が3.3%、女子が8.3%、小学生が7.7%、中学生が3.5%です。

	N	%
サンプル数	435	100%
ほぼ毎日	4	0.9%
週に数回程度	21	4.8%
週に1回程度	29	6.7%
月に数回程度	66	15.2%
月に1回程度	57	13.1%
年に数回程度	106	24.4%
年に1回程度	14	3.2%
あまり利用しない	110	25.3%
利用したことがない	28	6.4%



問32 図書館を利用する主な目的は何ですか？（いくつでも）

※問31で図書館を年に1回以上「利用している」と回答した者のみに質問

図書館を年に1回以上利用している297名のうち、「本やCDの貸出」が63.3%と最も高く、次いで「勉強、学習の場所」が39.7%、「本や雑誌、新聞を読む」が33.3%と続いています。一方、「図書館職員へ本などの相談」は0.7%と最も低いです。

男子・女子ともに「本やCDの貸出」（男子は58.5%、女子は66.7%）が最も高く、次いで、「勉強、学習の場所」（男子は32.6%、女子は48.0%）と続いています。

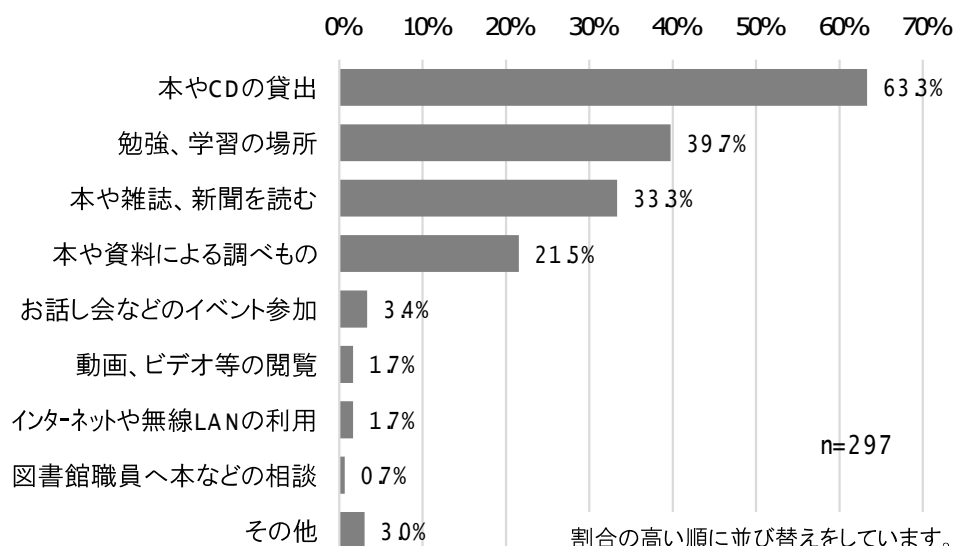
小学生・中学生も同様に、「本やCDの貸出」（小学生は67.4%、中学生は57.4%）が最も高く、次いで、小学生は「本や雑誌、新聞を読む」（36.0%）が、中学生は「勉強、学習の場所」（54.9%）が続いています。

学年別では小学4年生から中学3年生にかけて「本やCDの貸出」の割合が低くなり、「勉強、学習の場所」の割合が高くなっています。

	N	%
サンプル数	297	100%
本やCDの貸出	188	63.3%
本や雑誌、新聞を読む	99	33.3%
本や資料による調べもの	64	21.5%
動画、ビデオ等の閲覧	5	1.7%
勉強、学習の場所	118	39.7%
インターネットや無線LANの利用	5	1.7%
図書館職員へ本などの相談	2	0.7%
お話し会などのイベント参加	10	3.4%
その他	9	3.0%

「その他」の具体的な内容

本・マンガとかを借りるため、広場で鬼ごっこ、友達とゲーム、しらべる学習、雨宿り、マンガ探し、本を読むのが楽しいから など



問33 区立図書館で取り組んでほしいことは何ですか？（いくつでも）

「本の種類を増やしてほしい」が45.3%と最も高く、次いで「机を増やしてほしい」が30.1%、「新刊を置いてほしい」が24.6%、「電子図書を増やしてほしい」が17.0%と続いています。

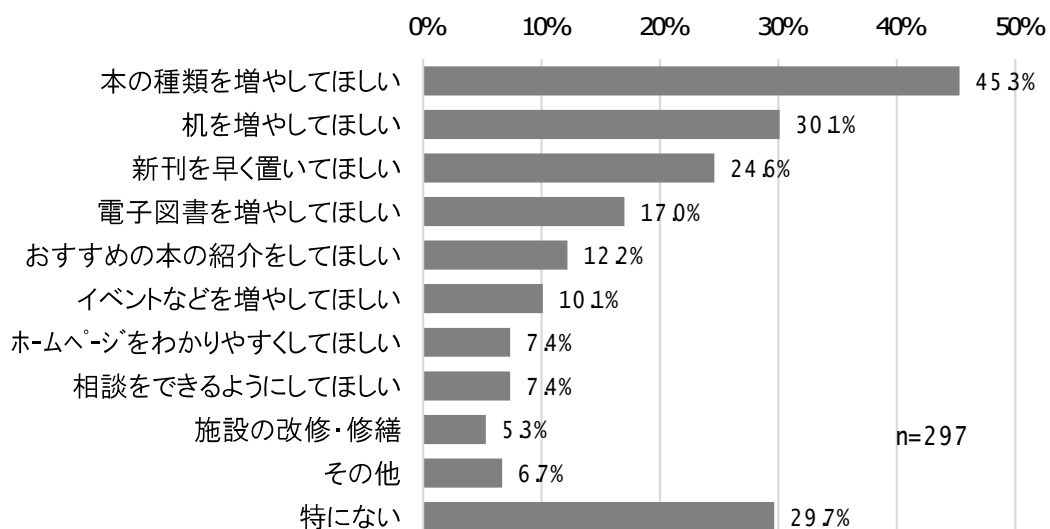
男子・女子ともに「本の種類を増やしてほしい」（男子は42.2%、女子は48.3%）が最も高く、次いで男子は「特にない」が35.5%、女子は「机を増やしてほしい」が38.5%と続いています。

また、小学生は「本の種類を増やしてほしい」が57.3%と最も高く、次いで「新刊を早く置いてほしい」が31.2%と続いています。中学生は「特にない」が42.3%と最も高く、次いで「机を増やしてほしい」が32.8%と続いています。

	N	%
サンプル数	435	100%
本の種類を増やしてほしい	197	45.3%
新刊を早く置いてほしい	107	24.6%
電子図書を増やしてほしい	74	17.0%
イベントなどを増やしてほしい	44	10.1%
机を増やしてほしい	131	30.1%
おすすめの本の紹介をしてほしい	53	12.2%
ホームページをわかりやすくしてほしい	32	7.4%
本や調べものの相談をできるようにしてほしい	32	7.4%
施設の改修・修繕	23	5.3%
その他	29	6.7%
特にない	129	29.7%

「その他」の具体的な内容

漫画の種類を増やしてほしい(8)、カフェ併設、借りたい本があるか調べられる機能、蔵書の増加、友達と話せるスペース、学習スペース、本の宅配サービス、ホームページが見つらなくなった、新刊のアピール、照明を明るくしてほしい など



割合の高い順に並び替えをしています。
グラフの表記を一部省略しています。

問34 学校や生活について言いたいこと、かなえて欲しいことがあれば、なんでも書いてください。（ない場合は、書かないで進めてください）（自由記述）

全部で118件の意見があり、その中で「学び・育ち」に関する意見が多く、67件ありました。

次いで、「つながり」に関する意見が55件ありました。

なお、定性調査のため、意見数はあくまで参考値です。

	意見数
1. 学び・育ち	67
2. 自分らしさ	26
3. 環境	41
4. つながり	55
ICT	13

※1人で複数個の記述があったものは、複数の項目でカウントしているため、合計数は118件以上となります。

※定性調査のため、割合は算出せず。